

教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業 成果報告書

実施テーマ	■ 民間教育事業者との連携による教員の資質能力向上事業
-------	-----------------------------

主 題	小学校外国語科・外国語活動の授業力向上に向けた資質能力向上研修
企画の概要	小学校教員が新学習指導要領に対応した外国語科・外国語活動の授業イメージを持ち、今後の授業づくりに役立てるために、新しい指導内容である「読むこと」「書くこと」に関する指導経験が豊富な民間教育事業者の外部講師を小学校に派遣し、モデル授業を実施する。また、小学校教員の授業力を向上させるために、民間教育事業者のもつ「読むこと」「書くこと」に関する指導技術等を学ぶ。

調査研究実施機関名	千葉県教育委員会		
代表者	職名	教育長	
	(ふりがな)	さわかわ かずひろ	
	氏名	澤川 和宏	
契約者	職名	教育長	
	(ふりがな)	さわかわ かずひろ	
	氏名	澤川 和宏	
事業実施責任者	所属部署・職名	千葉県教育庁教育振興部学習指導課・課長	
	(ふりがな)	こばたけ やすお	
	氏名	小畠 康生	
	電話番号	043-223-4065	
事務連絡担当者	所属部署・職名	千葉県教育庁教育振興部学習指導課・指導主事	
	(ふりがな)	さとう だいさく	
	氏名	佐藤 大作	
	住所	千葉県千葉市中央区市場町1-1	
	電話番号	043-223-4059	
	FAX番号	043-221-6580	
	E-mailアドレス	<a href="mailto:kateigimu@mz.pref.chiba.lg.jp">kateigimu@mz.pref.chiba.lg.jp</a>	

1) 実施体制			
所属部署・職名	氏名	役割分担	
千葉県教育庁教育振興部学習指導課・課長 千葉県教育庁教育振興部 学習指導課・主幹兼教育課程室長 〃 · 主幹 〃 · 主席指導主事 〃 · 指導主事	小畠 康生 植草 貴久男 加瀬 直人 鶴岡 利明 佐藤 大作	全体計画 全体計画 総務・全体調整 総務・全体調整 事務・調整	

2) 調査研究における教育委員会・大学・独立行政法人教職員支援機構等との連携			
2-1) 連携の有無			
連携先の種類	有	無	具体的な連携先
教育委員会	<input type="checkbox"/>	有	( )
大学	<input checked="" type="checkbox"/>	有	(神田外語大学 043-273-2017)
(独) 教職員支援機構	<input type="checkbox"/>	有	( )
その他の	<input checked="" type="checkbox"/>	有	((株) インタラック関東北 043-244-7555)
2-2) 連携内容			
<p>千葉県では、平成26年度から神田外語大学と連携し、小学校外国語活動中核教員養成研修を実施し、文部科学省が実施している中央研修受講者（英語教育推進リーダー）による伝達講習や、大学教授の講義を行い、教員の指導力向上を図っている。また、平成29年度の本調査研究事業においても、小学校英語教科化に向けて必要な「文字と音声の指導の在り方」や「絵本の読み聞かせの指導法」の研修内容について指導・助言をいただくなど、小学校英語教育における連携を深めている。</p> <p>そこで、平成30年度に本調査研究で実施するモデル授業においても、文部科学省作成の指導案を効果的に活用するために、大学教授、民間教育事業者担当、学習指導課担当指導主事の三者で指導案検討会をもち、モデル授業づくりに向けた指導助言を受ける。</p> <p>民間教育事業者である（株）インタラック関東北は、小学校教員の授業力向上のために、県内59校の会場に日本人講師1名を派遣し、新学習指導要領の内容によるモデル授業を実施する。さらに、小学校教員の指導力向上のために、研究協議の中で、特に新しい指導内容である「読むこと」「書くこと」に関する指導技術を紹介する。選定に当たっては、①ALTや語学講師の派遣業務で県内市町村に実績があること、②小学校英語に係る研修会の実施や新学習指導要領のための教材についても独自に研究・開発していること、③千葉県の小・中学校の実態を把握していること、の3点の条件に合い、これまでの研修実績において信頼性があることから決定した。</p>			

3) 課題認識
<p>小学校外国語科・外国語活動の時数や学習内容の増加に伴い、小学校教員には、これまでの外国語活動の授業力に加え、新しい指導内容に対応した授業力や指導技術が必要となっている。そのため、各市町村教育委員会から、小学校教員の外国語教育指導力向上のための研修開催の要望も多い。</p> <p>本県では、平成26年度から神田外語大学と連携して中核教員養成研修を実施しているが、大学教授から、平成29年3月の新学習指導要領が公示される前の研修内容では、新しい授業づくりには不十分であるとの指摘を受けている。</p> <p>平成29年度は、本調査研究事業を活用し、小学校英語教科化に向けて必要な「文字と音声の指導の在り方」や「絵本の読み聞かせの指導法」について、外部講師を派遣して研修を実施した。アンケート結果によると98%が研修内容に満足していたが、実際の授業実践に係る研修を求める自由記述が多かった。</p> <p>のことから、小学校教員が新しい指導内容を理解して具体的な授業イメージをもち、授業力向上のための研修を実施することが喫緊の課題となっていた。</p>

#### 4) 調査研究の目的

本調査研究の目的は、小学校教員に対して大学や民間教育事業者と連携してモデル授業を示すことで、小学校教員が外国語科や外国語活動の新しい教材や指導内容を知り、具体的な授業イメージをもつことで、今後の授業づくりに役立たせることである。

また、新しい指導内容のうち、「読むこと」「書くこと」の2領域については、民間教育事業者のもつ指導技術や経験を小学校教員に伝えることで、今後の授業づくりに役立たせる。

さらに、県全体での英語教育の充実を図るために、新学習指導要領の内容について、小学校だけでなく中学校にも周知し、小・中連携の意識を高める契機として本研究を活用する。

#### 5) 調査研究の方法

新しい学習内容を実際に指導する小学校教員のために、希望する小学校へ外部講師を派遣し、実際に児童が参加するモデル授業を中学年・高学年別に実施することで、授業づくりに対する理解を深める。また、授業後には研究協議を行い、授業づくりに関する質疑応答や、様々な指導技術等について外部講師を交えて協議することにより、更なる授業力向上を図る。

#### 1 研修方法と内容

##### (1) 方法

- ① 県学習指導課から県内59校の小学校に民間教育事業者の日本人外部講師1名を派遣する。
- ② 日本人外部講師は、文部科学省が作成した新教材・指導案を活用し、中学年で45分1時間、高学年で45分1時間のモデル授業を実施する。また、研究協議の中で授業に関する質疑に答え、「読むこと」「書くこと」に関する指導技術を小学校教員に紹介する。
- ③ 研修協力校のうち、モデル授業を実施する学級の児童は、授業に参加する。
- ④ 研修協力校の教員は、時間を見て交代で参観する。
- ⑤ 研修協力校と同一もしくは近隣市町村の小学校等のうち、外国語担当教諭1名が悉皆で参加する。
- ⑥ 研修協力校と同一もしくは近隣市町村の中学校等のうち、英語科担当教諭1名が希望で参加する。
- ⑦ 学校行事等で参加できない場合には、他の会場で参加する。
- ⑧ 参加者は、研修後、自校で他の教員に伝達する。

##### (2) 内容

地域の実情や研修協力校の希望に応じ、学級担任による指導、専科教員による指導等、授業レベルに初級・中級を設けて実施する。初級は、日本人外部講師が学級担任役になり、デジタル教材やICT機器を活用し英語の音声を補助しながら指導できる構成とする。中級は、日本人外部講師が専科教員役になり、口頭による英語使用量を多めにし、発展的な言語活動を取り入れる。さらに、研修協力校の職員とTTで授業を行うことも可能とするなど、各小学校の希望に応じる。

研修申込時に、開催時期や授業レベルの希望を取る。

##### 【授業レベルの希望（例）】

希望A：初級—学級担任役による授業（デジタル教材・ICT機器活用）

希望B：中級—専科教員役による授業（英語使用量多目、発展的な活動含む）

## 希望C：その他一研修協力校職員とのTTによる授業

### ① モデル授業（中学年用・高学年用）

- ・文部科学省作成指導案を活用して、大学教授、民間教育事業者担当、県学習指導課担当指導主事で指導案検討を行い、モデル授業実施校の実情に応じて、学級担任用と専科教員用の2つのモデル授業を作成
- ・該当クラスの児童参加
- ・文科省作成の移行期間中における年間指導計画（例）に合わせて実施（7月～12月）
- ・3年（Let's Try! 1 Unit6）
- ・4年（Let's Try! 2 Unit5）
- ・5年（We Can! 1 Unit5、7）※いずれか選択
- ・6年（We Can! 2 Unit5、7）※いずれか選択

### ② 研究協議

- ・授業についての質疑・応答
- ・「読むこと」「書くこと」の指導技術

## （3）研修協力校の決定

県内59校を会場に開催する。5つの教育事務所のブロックに分け、各市町村の人口や生活圏に応じて、小学校約20校当たり1校の割合で研修協力校を割り当てる。人口の多い市町には2校以上配当し、人口の少ない市町村には、合同開催を依頼する。各教育事務所の担当指導主事及び各市町村教育委員会担当者が協議の上、研修協力校を決定する。

研修協力校における当日の運営に当たっては、各教育事務所指導主事のほか、各市町村教育委員会担当者にも協力を仰ぎ、県教育委員会が作成した運営マニュアルをもとに実施する。

参加者は、近隣小学校の外国語教育担当教員1名とする。学校行事等で開催日に都合がつかない場合は、その他の研修協力校へ参加する。参加した教員は、自校において、校内相互授業参観等を通して他の教員に伝達する。その他、近隣中学校の英語科教諭の参加を促す。

## （4）実施時期と日程

### ① 実施時期 平成30年7月から12月までの課業日に実施

市町村教育委員会や研修協力校の希望日を第3希望まで取り、調整後決定し、6月中に周知する。その後、参加者名簿や開催要項を作成するなど、研修協力校との打合せや準備を進める。

### ② 日程（例）

午後1時00分 受付・事前打合せ等

午後1時30分 第5校時 中学年モデル授業（45分）

午後2時30分 第6校時 高学年モデル授業（45分）終了後、児童下校

午後3時30分 研究協議（60分）

午後4時30分 終了

## (5) 事業の成果の普及

小学校教員の参加者は、研修の内容を自校に持ち帰り、校内研修や授業公開等により、研修内容を伝達する。中学校教員の参加者は、各自の在籍校で他の英語科教員に研修内容を伝達する。

また、「読むこと」「書くこと」の指導技術を集めた『指導技術リーフレット』を民間教育事業者と協力して作成し、年度末に全小学校等に配付する。

## 6) 調査研究の実施実績

4月 9日	担当指導主事会議で事業の内容を検討
5月 22日	文部科学省と委託契約
6月 20日	民間教育事業者業務委託検討委員会の開催 神田外語大学英米語学科 田中真紀子教授から、㈱インタラック関東北の研修内容に指導助言を受け、研修内容を確定
6月 21日	「小学校外国語科・外国語活動の授業力向上に向けた資質能力向上研修」の実施について市町村教育委員会を通じて各小学校に周知し、各教育事務所の研修協力校を決定
6月 28日	㈱インタラック関東北と業務委託契約
7月 4日	民間教育事業者による研修会の開始 (※別添資料1参照)
※夏季休業中 を除く	<p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① モデル授業 (中学年1コマ・高学年1コマ)</li><li>② 研究協議<ul style="list-style-type: none"><li>・授業についての質疑・応答</li><li>・「読むこと」「書くこと」の指導技術</li></ul></li><li>③ 各教育事務所管内の小学校数と研修協力校数<ul style="list-style-type: none"><li>・葛南教育事務所 小学校 147校 (研修協力校 8校)</li><li>・東葛飾教育事務所 小学校 145校 (研修協力校 14校)</li><li>・北総教育事務所 小学校 178校 (研修協力校 14校)</li><li>・東上総教育事務所 小学校 86校 (研修協力校 14校)</li><li>・南房総教育事務所 小学校 122校 (研修協力校 9校) 計 59校</li></ul></li><li>④ 参加者: 近隣小学校の担当教員、中学校教員、A L T等</li><li>⑤ 伝達講習: 参加者は、自校に戻って校内授業研究会等を実施して伝達</li></ul> <p>民間教育事業者による研修会の終了</p>
12月 13日	民間教育事業者による研修会の終了
12月 20日	民間教育事業者・神田外語大学・県教育委員会で「指導技術リーフレット」を作成
1月 21日	担当指導主事会議で事業の反省
1月 31日	各教育事務所から「実施報告書」「実施アンケート」の提出
3月 6日	「指導技術リーフレット」を全小学校等へ配付し、研究の成果を普及
3月 29日	文部科学省へ事業完了報告

## 7) 取組のポイント・成果

### 1 取組のポイント

#### (1) ポイントA

これまで教育委員会主催の小学校英語指導力向上研修は、夏季休業中に県総合教育センターや神田外語大学を会場に実施していたが、㈱インタラック関東北の日本人講師1名を県内59校に派遣したことにより、千葉市を除く県内53市町村全ての英語担当教員が近隣の小学校で専門性の高い研修を受講することができた。

#### (2) ポイントB

文部科学省作成の新教材等が配付され、新しく「読むこと」「書くこと」に関する指導も加わったことで、新しい授業づくりを目指したモデル授業の実施や専門性向上のための研修が必要となった。神田外語大学教授の指導・助言のもとに、モデル授業や「読むこと」「書くこと」に関する研修内容を立案し、指導力の高い㈱インタラック関東北の日本人講師が研修を実施することで、小学校教員のニーズと合致し、授業力向上が図れた。さらに、本研修の実施内容を基にした「指導技術リーフレット」(※別添資料2参照)を作成し全小学校等に配付することで、実際の授業における活用を促した。

### 2 成果

民間教育事業者の外部講師派遣により、近隣の小学校で研修が受けられるようになり、出張の負担も軽く、1775名の小・中学校教員が受講することができた。受講者による伝達講習は、小・中学校併せて653校で実施され、延べ12257名が参加した。(※別添資料3参照)これは、昨年度実績延べ6077名の約2倍となった。

新学習指導要領や新教材等の内容が県下に広く周知され、民間教育事業者の持つ専門性の高い指導技術と「読むこと」「書くこと」の指導におけるポイントを県下全域で共有することができた。研修後に、㈱インタラック関東北が実施したアンケートによると、研修参加者の91%が研修内容に満足した。(※別添資料4参照)

## 8) 今後の課題

### 「外国語科・外国語活動の授業力向上」の支援

- (1) 民間教育事業者の外部講師を多くの小学校に派遣し、近隣での研修開催を継続化することにより、新たに配置された専科教員や特別免許状所持者、ALT等支援者、中学校教員等、小学校英語教育に関わる全ての指導者が受講することで、質の高い英語教育を実現する。
- (2) 民間教育事業者のもつ「読むこと」「書くこと」の指導技術の活用による実践的な授業力の向上と同時に新たに導入される外国語科の評価の実際を学ぶ。

# 別添資料 1

## 平成30年度小学校外国語科・外国語活動の授業力向上に向けた資質能力向上研修 運営担当者配置計画

※G : grade (学年) U : unit (単元) の略

地区	番号	月日	学校名	住所	電話番号	中学年授業	高学年授業	運営担当者 (主)	助言者・運営担当者 (副)	参加者数
葛南	1	7月18日	市川市立大洲小学校	市川市大洲4-18-1	047-370-0300	G4-U5	G5-U7	佐藤 大作		
	2	9月7日	浦安市立明海小学校	浦安市明海2-13-4	047-380-8600	3-6	6-5	佐藤 大作		
	3	9月19日	習志野市立向山小学校	習志野市谷津2-16-32	047-451-1717	3-6	5-5	山岸 恒孝		
	4	10月1日	船橋市立薬円台小学校	船橋市薬円台4-5-1	047-466-4135	3-6	6-5	佐藤 大作		
	5	10月10日	八千代市立萱田小学校	八千代市ゆりのき台6-20	047-484-5541		6-7	後藤 洋美		
	6	11月1日	船橋市立法典西小学校	船橋市上山町1-111-5	047-337-7982	4-5	5-5	後藤 洋美		
	7	11月8日	船橋市立若松小学校	船橋市若松3-2-4	047-434-6925	4-5	5-5	後藤 洋美		
	8	12月5日	市川市立富美浜小学校	市川市南行徳2-3-1	047-396-2522	4-5	5-7	猪越 裕		
東葛飾	9	7月9日	野田市立福田第一小学校	野田市三ツ堀1373	04-7138-2109	4-5	5-5	山本 亜由美	並木 孝樹	
	10	9月7日	柏市立旭小学校	柏市旭町6-5-17	04-7144-6400	3-6	5-7	加藤 貴久子		
	11	9月12日	松戸市立東部小学校	松戸市高塚新田382-1	047-391-2971	3-6	5-7	吉田 美佳子	佐藤 大作	
	12	10月11日	柏市立柏第五小学校	柏市柏932-7	04-7164-1585	4-5	6-7	福島 理恵		
	13	10月15日	松戸市立和名ヶ谷小学校	松戸市和名ヶ谷1085	047-391-2401	3-6	6-7	佐藤 大作		
	14	10月15日	柏市立高柳小学校	柏市高南台3-14-12	04-7191-3499	4-5	6-7	吉村 政和		
	15	10月26日	流山市立八木南小学校	流山市柴崎92	04-7158-1142	4-5	5-5	佐藤 大作		
	16	11月14日	柏市立松葉第一小学校	柏市松葉町5-3	04-7133-5602	3-6	6-7	佐藤 大作		
	17	11月15日	我孫子市立湖北小学校	我孫子市中里95	04-7188-1002	4-5	5-7	並木 孝樹		
	18	11月20日	柏市立富勢小学校	柏市布施925-1	04-7133-2077	3-6	5-7	山本 亜由美		
	19	11月21日	柏市立柏第八小学校	柏市永楽台2-8-1	04-7164-1207	4-5	5-7	福島 理恵		
	20	11月30日	柏市立藤心小学校	柏市藤心880-1	04-7173-7941	4-5	5-7	山本 亜由美		
	21	12月3日	柏市立柏第三小学校	柏市若葉町4-54	04-7167-3161		5-5	吉田 美佳子		
	22	12月4日	鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷小学校	鎌ヶ谷市中央2-1-1	047-442-1105	4-5	5-5	山本 亜由美		
北総	23	7月4日	佐倉市立志津小学校	佐倉市上座1156-2	043-487-0252	4-5	6-5	寒川 晃士	佐藤 大作	
	24	7月11日	富里市立根木名小学校	富里市根木名1005-3	0476-92-0662	3-6	5-5	齋藤 智子		
	25	7月17日	銚子市立清水小学校	銚子市清水町2894	0479-22-0214	3-6	5-5	野尻 孝		
	26	7月18日	八街市立八街東小学校	八街市八街ほ40-1	043-444-0147	4-5	5-5	齋藤 智子		
	27	10月3日	印西市立牧の原小学校	印西市牧の原3-1-1	0476-29-5560	4-5	6-7	齋藤 智子		
	28	10月10日	匝瑳市立豊和小学校	匝瑳市大寺1492	0479-74-0644	4-5	5-5	野尻 孝		
	29	10月11日	香取市立北佐原小学校	香取市佐原二1676	0478-56-0403	4-5	5-7	黒川 俊樹		

	30	10月12日	旭市立干潟小学校	旭市鎌数9508	0479-62-2502	3-6	5-5	野尻 孝		
	31	10月16日	八街市立交進小学校	八街市八街ろ111-33	043-444-0146	3-6	6-7	齋藤 智子		
	32	11月14日	多古町立常磐小学校	香取郡多古町南玉造162	0479-76-9515	3-6	5-7	黒川 俊樹		
	33	11月16日	四街道市立四街道小学校	四街道市四街道1557	043-422-2726	4-5	6-7	寒川 晃士		
	34	11月27日	白井市立白井第三小学校	白井市根336-15	047-491-8181	4-5	6-7	寒川 晃士		
	35	12月3日	成田市立三里塚小学校	成田市本三里塚153-1	0476-35-0049	3-6	6-7	野尻 孝		
	36	12月13日	栄町立安食小学校	印旛郡栄町安食305	0476-97-0017	4-5	5-7	黒川 俊樹		
東上総	37	7月11日	茂原市立緑ヶ丘小学校	茂原市緑ヶ丘4-38	0475-22-0789	4-5	5-5	西周 信幸		
	38	7月13日	東金市立丘山小学校	東金市丹尾4-2	0475-52-2413	3-6	5-5	吉田 和代		
	39	9月28日	いすみ市立東海小学校	いすみ市若山1042	0470-62-0269	3-6	5-5	木下 智文		
	40	9月28日	大多喜町立大多喜小学校	大多喜町大多喜12	0470-82-2804	4-5	5-5	西周 信幸		
	41	10月30日	横芝光町立上堺小学校	山武郡横芝光町北清水181	0479-82-2525	4-5	5-5	西周 信幸		
	42	11月1日	山武市立鳴浜小学校	山武市本須賀1090	0475-84-1045	4-5	5-7	吉田 和代		
	43	11月1日	白子町立南白亀小学校	白子町牛込12	0475-33-2151	3-6	6-7	西周 信幸		
	44	11月5日	横芝光町立横芝小学校	山武郡横芝光町横芝1800	0479-82-1145	4-5	5-5	八巻 隆介 (町教委)		
	45	11月20日	長南町立長南小学校	長生郡長南町長南2060	0475-46-2140	4-5	6-7	木下 智文		
	46	11月21日	大網白里市立大網東小学校	大網白里市富田32-2	0475-72-8300	4-5	5-5	吉田 和代		
	47	12月4日	いすみ市立東小学校	いすみ市山田460	0470-66-1415	4-5	6-7	西周 信幸		
	48	12月4日	横芝光町立日吉小学校	山武郡横芝光町篠本5177	0479-85-1234	3-6	5-7	吉田 和代		
	49	12月4日	勝浦市立勝浦小学校	勝浦市墨名733-1	0470-73-0073	3-6	5-5	木下 智文		
	50	12月6日	睦沢町立睦沢小学校	睦沢町小滝450-1	0475-44-0009	3-6	5-5	木下 智文		
南房総	51	7月11日	館山市立房南小学校	館山市佐野2070	0470-28-0059	3-6	6-7	庄司 義広		
	52	7月18日	市原市立清水谷小学校	市原市ちはら台南5-2	0436-52-3681	4-5	5-5	庄司 義広		
	53	9月5日	市原市立光風台小学校	市原市光風台4-546	0436-36-6502	3-6	6-5	高野 勝		
	54	10月11日	富津市立青堀小学校	富津市大堀2042-4	0439-87-0063	3-6	6-7	高野 勝		
	55	10月11日	南房総市立富浦小学校	南房総市富浦町原岡931	0470-33-2053	4-5	6-7	庄司 義広		
	56	10月30日	木更津市立南清小学校	木更津市ほたる野3-5	0438-98-3193	3-6	5-7	高野 勝		
	57	10月30日	鴨川市立鴨川小学校	千葉県鴨川市横渚500	04-7092-0064	4-5	5-5	庄司 義広		
	58	11月9日	君津市立外箕輪小学校	君津市外箕輪1-34-1	0439-57-1753	4-5	5-7	高野 勝		
	59	11月29日	袖ヶ浦市立蔵波小学校	袖ヶ浦市蔵波台4-19-1	0438-63-6351		5-5	高野 勝		
合 計										0

県教育委員会で運営できないときは、市町教育委員会担当者が協力する。

## 2 テキストとワークシートの進め方の工夫

文部科学省が作成した新教材のテキストとワークシートの指導を工夫することで、「読む力」と「書く力」を効果的に伸ばすことができる。ここでも、音と文字の関係を児童に考えさせることが大切である。

### (1) テキストについて

- 単語の発音を練習するとき、最初の文字を指で宙に書きながら繰り返し言わせる。
- Let's Play 「ポインティングゲーム」を応用する。"cup"など、先生が言う単語の最初の文字"c"をテキスト等のアルファベット表から探させ、指を差してから、ワークシートに書かせるようとする。
- Story Timeを応用する。音声を聞かせる前に、「"n"はどういう音だっけ？」と児童に尋ね、声に出させてみる。「n(/en/), /n/, netの/n/だったね」というように、Jingleを声に出して音を思い出させる。読めそうな単語はどんどん読ませ、後から音声を聞かせて読みを確認させる。ペアやグループで読めるかどうか挑戦させてもよい。次に、Picture questions (絵からわかるものを児童に質問する)を行いながら、児童から英語を引き出して内容理解を促す。"What's this?" "What color is this?" "How many~?" "Where are they?" "What are they doing?" など。1~2語程度の単語でもよいので児童が英語で答えられたら褒める。そうすることで、英語を使ったコミュニケーションが自然にできるようになる。英語で答えられない場合は、日本語で答てもよいが、それを先生が英語で言い直すようとする。

《Story timeの指導例》

- A) 指追い … テキストの話している部分を指で追いかけて聞く。その後、児童に繰り返し言わせる。
- B) シャドーイング … 主音声を追いかけて、影のように小声で言う。
- C) ストーリー作り … 先生は、キーセンテンスを板書し、置き換える語を下線で示す。  
(例) Where is the park?  
児童はペアになり、語を置き換えてやりとりし、何組かに発表させる。

《Story timeを使ったアクティビティの例》

児童はテキストを閉じる。先生は、テキスト全体から、児童が覚えていそうなページを読む。"What page did I read?" と聞き、児童はそのページを探す。答えられた児童に、"Please read it." と言って、そのページを読ませる。児童が読めなければ、先生が一緒に読む。その後、"Let's read it out together." と言ってクラス全体で読む。読めない児童も分かるところや言えるところのみ、先生の真似をして読んでみる。

### (2) ワークシートについて

- 英語を4線に書くときの基本となる"1階、2階、地下1階のルール"を最初に明確に教える。  
英語を書く4線をアルファベットハウスに見立てて、下から2番目の線を地面として、すぐ上を1階、その上を2階、地面の下にある階を地下1階と見立てる。  
次に、アルファベットの大きさを適した位置に書くというルールを説明する。  
約束として、それぞれの階の天井には頭をつけ、地面にはしっかりと足をつける（文字の下を線に接する）ことも説明する。
- 単語は、絵カードのイラストを見せ、音を確認してから書かせる。  
そのとき、絵カードの該当する文字は付箋で隠す。  
2階  
1階  
地下1階
- ワークシートにイラストがある場合（例 コアラ）、クラス全体で音を確認してから書かせる。書き終わったら、先生が「k(/keɪ/), /k/, koala、最初の文字は何か？」と尋ね、児童に答えさせる。それから、「koalaのkだね」のように、一文字ずつJingleを復習しながら、板書して答え合わせする。
- アルファベットの音読みではなく、文字の名前読みをする単語が出てきた場合（例：diceのiは文字の名前読み）、inkのiは、/ɪ/ だけど、diceのiは、/aɪ/だよね。/aɪ/と読むこともあるんだね」と説明し、アルファベットには音読みの他に、文字の名前読みがあることを指導する。その他、既習単語から例を示す。

《活動例「アルファベット小文字体操」》

- 「a, b, c, …, z」と言いながら、1階建ての文字(a/c/e/i/m/n/o/r/s/u/v/w/x/z)では手をたたく、2階建ての文字(b/d/f/h/k/l/t)では頭を触る、地下1階の文字(g/j/p/q/y)では膝をたたく。
- テキストのアルファベット表を見ながらやってもよい。小文字を書く位置を意識させることを狙っている。

## 別添資料 2

### 平成30年度 小学校外国語科・外国語活動の授業力向上に向けた資質能力向上研修

## 「読むこと」「書くこと」の効果的な指導法

### 本リーフレットのねらい

千葉県教育委員会では、小学校英語教科化の全面実施に向け、大学や民間教育事業者と連携して、先生方の資質・能力や授業力の向上を目的とした研修を実施してきました。

平成30年度は、文部科学省が作成した新教材や指導案を活用したモデル授業や研究協議を県内59校で実施し、数多くの小・中学校の先生方に参加していただきました。新しい学習内容を指導するために、授業の具体的なイメージをもち、今後の授業づくりに生かしていただくことを期待したものです。

本リーフレットは、研究協議の際に講師が紹介した新しい指導内容のうち、「読むこと」「書くこと」の2領域について、指導技術の一部をまとめ、授業ですぐに使える具体的な活動例や指導上の配慮事項等を記載し、県全体で共通理解のもと、英語教育を推進するため作成したものです。小学校英語教科化に向け、中核教員を中心に校内研修を積み重ねる中で、本リーフレットを利用した体験的な研修を実施していただき、楽しくスキルアップが図れることを願っております。

さらに、小・中学校の円滑な接続を目指す契機として、中学校においても本リーフレットを活用していただければ幸いです。

主催：千葉県教育委員会

協力：(株)インタラック関東北

監修：神田外語大学 田中真紀子 教授

平成31年3月

# 1 文字と音の関係を学ぶ

アルファベット26文字について、それぞれの文字の音を知ること、また、それらを組み合わせたときの音を知ることが、英語を「読むこと」と「書くこと」の基本になる。これがしっかりと理解できていれば、その後の「読む」、「書く」の指導がスムーズに進む。文字と音の関係を学ぶには、「文字の音」→「3文字からなる語」の順に進めるといい。以下、具体的な活動例を紹介する。

## (1) 文字の音を学ぶ Alphabet Jingleを活用しよう

Alphabet Jingleを活用する。（「We Can! 1 & 2 ( P. 76~79 )」及びデジタル教材に掲載）  
Jingleは「a(/ei/), /æ/, apple」のように、文字の名前読み、音読み、その音から始まる単語の順にリズムに乗せて言うもので、英語の音に対する理解を助ける。

テキストの4種類のJingleのうち、授業でどれを使うかは単元により異なるが、日常的に練習するものとしては、一般的な単語を集めたp.76のAlphabet Jingleがお薦めである。特に、5つの短母音 a, e, i, o, u [/æ//e//i//o//u/] または [ɔ//ʌ/] と子音は、早い時期から指導すると、その後の理解がスムーズになる。

### 【活動①】Alphabet Jingle をマスターする

デジタル教材の音声データを繰り返し聞かせる。ALT等に協力してもらい、口の形や舌の位置にも気を付けながら、音の出し方を練習させる。一度に26文字すべてを覚えようとせず、新出単語やワークシートの出題に合わせて1時間に4文字くらいとし、1年間で繰り返し練習する。音読みに十分に慣れてから、「読むこと」「書くこと」の活動に入るようとする。

《Alphabet Jingleを使ったWarm-upの例》

- 児童は、テキストのAlphabet Jingleを見ながら、「a, /æ/, apple」のように、順番にJingleを言う。
- 児童全員が立ち、先生に指名された児童がいる縦列や横列の児童が、順番にJingleを言う。言えた人から座っていき、全員が座れたら終了とする。
- キーワードゲームをする。先生は、キーワードとなる文字を決め、ランダムに音読みをする。児童はペアになり、2人の間に消しゴムを1つ置く。手は頭の上に組み、キーワードである音読みが出るまで、先生の音読みを繰り返す。キーワードが出たら、消しゴムを取る。

## 【活動②】音によるアルファベット並べ

右のように、4×7マスの表と小文字カードを用意する。

児童は、A B C ソング等を歌いながら、名前読みの順に小文字カードを並べる。

カードを全て取り去った後、先生が発音する音読みを聞いて、小文字カードをマスに置いていく。初めは、左上からa, b, c, d…の順でよいが、慣れてきたら、有声音と無声音のペア、左右対称のペアなど、ランダムに選んで小文字カードを置かせる。グループやペアで競わせてよい。

	b	c	d			g
			k			
p	q			s	t	
				z		

## (2) 「3文字からなる語」で音と文字を結び付けることに慣れよう

文字の音を覚えたら、3つの文字からなる語が読めるようとする。

### 【活動③】最初の文字は？

先生は、右のat, et, in, op, unの文字カード（または板書）と小文字カード（教科書の巻末にあり）を用意する。

絵カードcat, hat, bat, jet, net, pet, fin, pin, chin, hop, top, mop, sun, bun, gunを見せてリピートさせ、音とイメージを一致させてから行う。

絵カードで使われている子音\*に限定して、児童に小文字カードで単語を作らせる。\*c, h, b, j, n, p, f, h, t, m, s, b, g

atの最初に小文字カードを1枚置いて、できた語をクラスで発音してみる。合っているかどうか、絵カードで確認する。

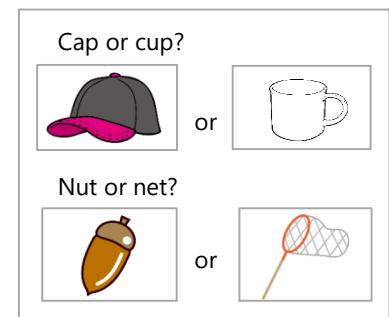
atの前には、c, h, bが置ける。p, r, m, fなども正解。

at	et	in
op	un	

### 【活動④】Cap or Cup?

3文字からなる語の真ん中の母音を考えさせることで、5つの短母音の音を学ぶ。

①	②	③	④	⑤
A	cap	mop	pen	nut
B	cup	map	pin	net



上記の表を黒板に貼るか、板書する。補助として絵カードも掲示しておく。

先生がAかBいずれかを発音し、児童が正しいと思う方を次のように指で示させる。

先生：“Cap. A or B?”

児童：Aと思ったら指1本、Bと思ったら指2本を上げる。

先生：“The answer is A.”

※ 全員が立った状態でスタートし、間違えたら座るようにしてもよい。

### 【活動⑤】Last and first (しりとり)

cap, pen, net, top, pot, ten, nut, の7種類の大きめの絵カード1セットと小さめの絵カード（文字なし）をグループ分用意する。

先生は、大きめの絵カードを見せながら発音を確認し、音と意味を一致させる。

このとき、絵カードの文字は付箋を貼って隠しておく。

児童は、数名のグループに分かれ、語末の音と、語頭の音のしりとりになるように小さめの絵カード7枚を並べる。

グループごとに児童に答えを言わせて、その答えの絵カードを先生が黒板に並べていく。

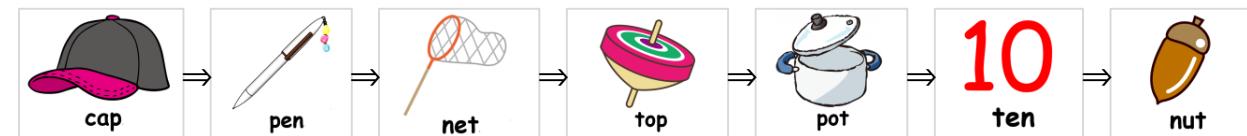
先生は、同じように並べたグループがあるか児童に尋ねる。答えと違うグループがいたら、それを発表させる。

例① cap-pen-net-top-pot-ten-nut

例② cap-pot-top-pen-net-ten-nut

例③ cap-pot-ten-nut-top-pen-net

最初と最後の音を使って、いろいろな並べ方があることを示す。



### 【活動⑥】「3文字からなる語」作り

先生は、cap, pen, net, top, pot, ten, nutの7種類の大きめの絵カードと、これらの単語が作れる数の小文字カードを用意する。

絵カードを見せて、繰り返し発音を練習し、音と意味を一致させる。

このとき、絵カードの文字部分の上に付箋を貼り、文字をかくしておく。

児童は、数名のグループに分かれ、絵カードの下に小文字カードを並べて、3文字からなる語を作る。

答え合わせの時に、児童に1文字ずつ音読みをさせ、「/k/, /æ/, /p/, capだね。」のように、3つの音を連結して、合っているかどうかを確認する。最後に全員で先生の後に、繰り返す。



p	e	a	n
c	o	t	u

## 別添資料3

## 平成30年度小学校外国語科・外国語活動の授業力向上に向けた資質能力向上研修

## 参加者総数報告書

千葉県	教育委員会
担当者名	佐藤 大作

単位(人)

	研修の種類	参加者数	葛南	東葛飾	北総	東上総	南房総
1	外国語講師によるモデル授業及び指導技術伝達講習	1,775	368	574	347	353	133
2	受講者による伝達講習	12,257	2,974	3,032	2,957	1,107	2,187
	参加者総数	14,032	3,342	3,606	3,304	1,460	2,320

単位(校)

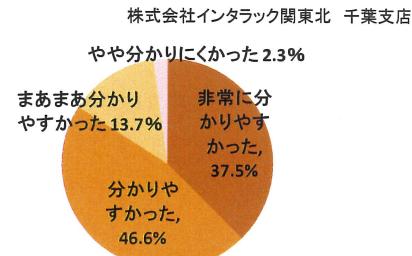
	研修の種類	参加学校数	葛南	東葛飾	北総	東上総	南房総
1	外国語講師によるモデル授業及び指導技術伝達講習	59	8	14	14	14	9
2	受講者による伝達講習	653	131	125	187	79	131
	参加学校総数(複数実施を含む)	712	139	139	201	93	140

# 別添資料4

## 【デモレッスンについて】

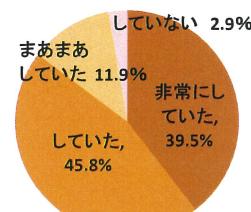
### 1) レッスンは分かりやすかったですか

結果	人数	割合
非常に分かりやすかった	432	37.5%
分かりやすかった	537	46.6%
まあまあ分かりやすかった	158	13.7%
やや分かりにくかった	26	2.3%
合計	1153	100%



### 2) 児童には明確な指導をしていましたか

結果	人数	割合
非常にしていた	455	39.5%
していた	528	45.8%
まあまあしていた	137	11.9%
していない	33	2.9%
合計	1153	100%



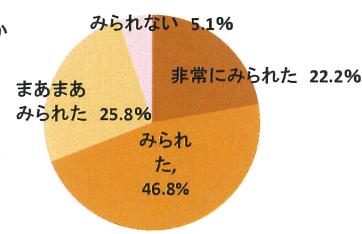
### 3) 児童は楽しんでいましたか

結果	人数	割合
非常に楽しんでいた	333	29.1%
楽しんでいた	522	45.6%
まあまあ楽しんでいた	237	20.7%
あまり楽しんでいなかった	52	4.5%
合計	1,144	100%



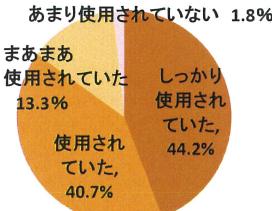
### 4) 児童のコミュニケーションへの関心・態度に変化はみられましたか

結果	人数	割合
非常にみられた	255	22.2%
みられた	537	46.8%
まあまあみられた	296	25.8%
みられない	59	5.1%
合計	1,147	100%



### 5) デジタル教材は効果的に使用されていましたか

結果	人数	割合
しっかり使用されていた	513	44.2%
使用されていた	473	40.7%
まあまあ使用されていた	154	13.3%
あまり使用されていない	21	1.8%
合計	1,161	100%



## 【研修について】

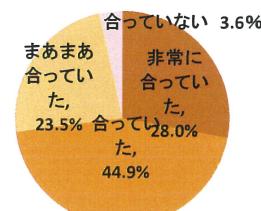
### 6) 研修は分かりやすかったですか

結果	人数	割合
非常に分かりやすかった	574	50.1%
分かりやすかった	473	41.3%
まあまあ分かりやすかった	94	8.2%
やや分かりにくかった	4	0.3%
合計	1,145	100%



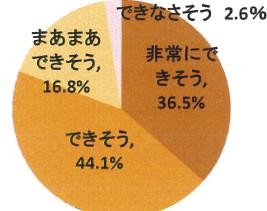
### 7) 内容が学校の現状に合っていましたか

結果	人数	割合
非常に合っていました	319	28.0%
合っていました	512	44.9%
まあまあ合っていました	268	23.5%
合っていない	41	3.6%
合計	1,140	100%

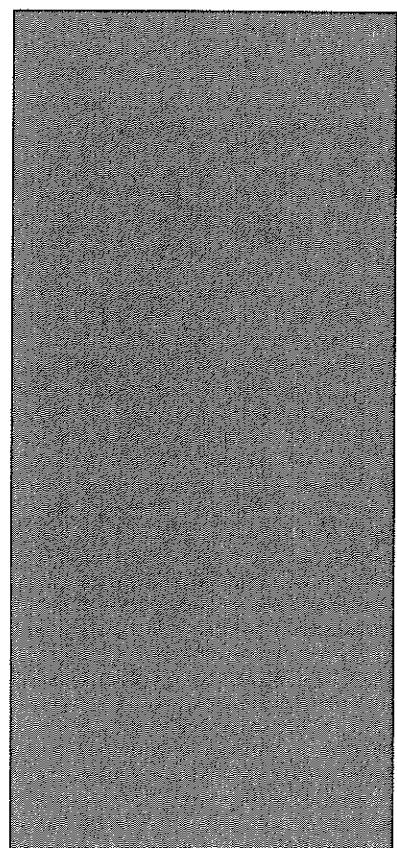
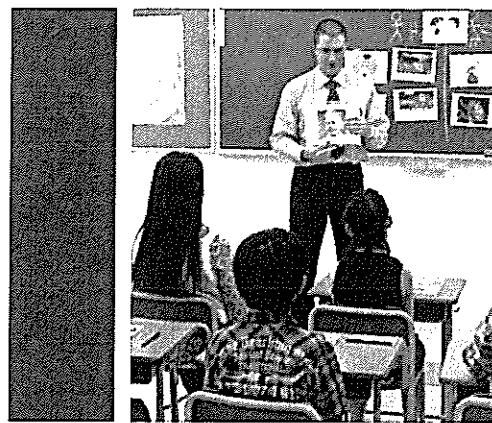


### 8) 今後授業に活用できそうな内容でしたか

結果	人数	割合
非常にできそう	406	36.5%
できそう	491	44.1%
まあまあできそう	187	16.8%
できなさそう	29	2.6%
合計	1,113	100%



千葉県教育委員会 御中



## 平成30年度 教員研修資質向上研修アンケート結果

平成31年3月12日

株式会社インタラック関東北 千葉支店

株式会社インラック関東北 千葉支店

## 【デモレッスンについて】

## 1) レッスンは分かりやすかったですか

結果	人数	割合
非常に分かりやすかった	432	37.5%
分かりやすかった	537	46.6%
まあまあ分かりやすかった	158	13.7%
やや分かりにくかった	26	2.3%
合計	1153	100%

## 2) 児童には明確な指導をしていましたか

結果	人数	割合
非常にしていた	455	39.5%
していた	528	45.8%
まあまあしていた	137	11.9%
していない	33	2.9%
合計	1153	100%

## 3) 児童は楽しんでいましたか

結果	人数	割合
非常に楽しんでいた	333	29.1%
楽しんでいた	522	45.6%
まあまあ楽しんでいた	237	20.7%
あまり楽しんでいなかった	52	4.5%
合計	1,144	100%

## 4) 児童のコミュニケーションへの関心・態度に変化はみられましたか

結果	人数	割合
非常にみられた	255	22.2%
みられた	537	46.8%
まあまあみられた	296	25.8%
みられない	59	5.1%
合計	1,147	100%

## 5) デジタル教材は効果的に使用されていましたか

結果	人数	割合
しっかりと使用されていた	513	44.2%
使用されていた	473	40.7%
まあまあ使用されていた	154	13.3%
あまり使用されていない	21	1.8%
合計	1,161	100%

## 【研修について】

## 6) 研修は分かりやすかったですか

結果	人数	割合
非常に分かりやすかった	574	50.1%
分かりやすかった	473	41.3%
まあまあ分かりやすかった	94	8.2%
やや分かりにくかった	4	0.3%
合計	1,145	100%

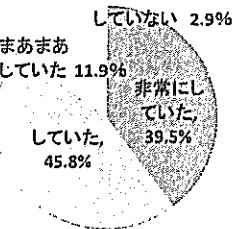
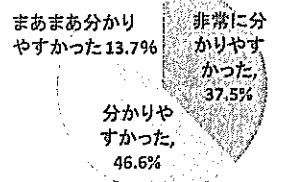
## 7) 内容が学校の現状に合っていましたか

結果	人数	割合
非常に合っていました	319	28.0%
合っていました	512	44.9%
まあまあ合っていました	268	23.5%
合っていない	41	3.6%
合計	1,140	100%

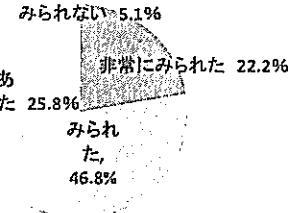
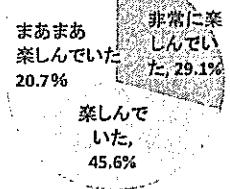
## 8) 今後授業に活用できそうな内容でしたか

結果	人数	割合
非常にできそう	406	36.5%
できそう	491	44.1%
まあまあできそう	187	16.8%
できなさそう	29	2.6%
合計	1,113	100%

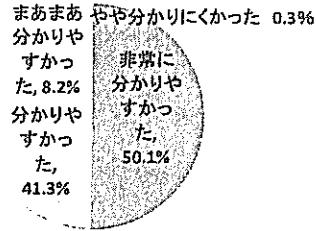
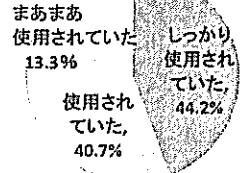
やや分かりにくかった 2.3%



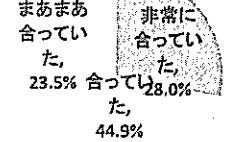
あまり楽しんでいなかった 4.5%



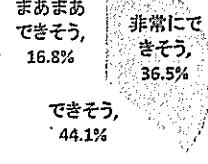
あまり使用されていない 1.8%



合っていない 3.6%



できなさそう 2.6%



千葉県教育委員会 御中

平成30年度  
教員研修  
(資質向上研修)

コメント集

平成31年3月12日

リンク・インターラックグループ 株式会社インターラック関東北 千葉支店



# 平成 30 年度千葉県教員研修アンケートコメント抜粋（葛南）

インタラック関東北 千葉支店

## 市川市立大洲小学校（7月18日）

- ◆ 児童の指名は担任の方がよいと思った。アルファベットの指導やチャンツ等とても参考になった。
- ◆ 研究協議での内容、すぐに活用したい。
- ◆ 活動が難しかった。
- ◆ 今後の授業で使えそうなテクニックを持ち帰って生徒に還元していきたい。
- ◆ 中学校の教師が研修する意味がわからなかった。小学校の担任がフォニックスを教えるためには、もっと研修が必要だ。そうでないと間違った発音を教えてしまうことになる。
- ◆ 文字指導で正しく書けていない児童がいた。5年生の Where is ~? は中1のこの時期に行つたので、色々なやり方があるなと思った。参考になりました。
- ◆ 様々な手法を学ぶことができ大変勉強になった。中学校の英語とのつながりやコミュニケーション力向上のための学習内容や指導法について今後さらに学んでいきたいと考えている。学校ではできない分野ですので、さらに研究されることをお願いします。
- ◆ 本校では「Today's target」という「めあて」に代わる物を板書している。英語の授業の中に日本語の板書があるのはどうなのかな・・・。と思いながら試行錯誤している。
- ◆ 学校では「T1 が担任」と指導されているので、T1 と T2 のあり方について知りたい。
- ◆ デジタル黒板をこんなに活用できるのだと勉強になった。また、リズムに合わせてチャンツを教える意義に気付かされた。
- ◆ 読むこと、書くことの効果的な指導法が大変参考になった。是非実践してみたい。
- ◆ アクティビティがシンプルで取り入れやすく、かつ楽しく学べるものが多く、勉強になった。是非、自校でも取り入れていきたい。
- ◆ 5学年の授業が「担任 T1」のモデル授業だとしたら、英語経験のない教員にとってはかなり無理があるのでは・・・と感じた。

## 浦安市立明海小学校（9月7日）

- ◆ 書くことの抵抗がなくなった。ソフト活用して慣れ親しんでいければと思う。
- ◆ 自分には出来ないことがたくさんあり、とても勉強になった。少しでも近づけたい。
- ◆ 小学校で英語を取り組む目的が伝わる研修だった。
- ◆ 子どもたちがしっかりと顔を上げ、先生の表情を見ながら授業を楽しんでいる様子が印象的。
- ◆ 児童を外国語の授業へひきつけることが「楽しむ」ことにつながるということを改めて感じた。
- ◆ 子どもから文法の説明を求められるとき、難しい単語のスペルを聞かれるとき等があり、対応に困ることがある。

## 習志野市立向山小学校（9月19日）

- ◆ 中学年、高学年とそれぞれ児童の発達段階が違う中でどのように子どもたちが意欲的に外国語活動に取り組んでいったらよいのか、ICTを使い、リズミカルに活動することが出来て実際に取り組める内容だった。高学年はそれまでの学習が活かされたスポーツや動物がすぐに英語で言えるところがすごいと思った。書く際に、1階2階、地下とわかりやすく教えていただき、とてもわかりやすかった。
- ◆ 子どもたちのつまずきに対して繰り返し支援し、力をつけるポイントを教えてもらった。
- ◆ ALTの先生による正しい発音を聞くことで子どもたちに正しい英語を聞き取る力が養われると思う。ただ一方的に英語ばかりだと子どもたちはポケっとてしまい、何をすればよいかわからなくなってしまう。時には、日本語でのデモンストレーションや説明が大事と感じた。それがT2の役割だと改めて感じた。
- ◆ 子どもたちの巻き込み方がどういったものが他にあるのだろうかと思った。
- ◆ 教科化に向けた評価の点などについて考える機会になるかと考えていたが、講座内容が合っていなかった。文科省ベースの内容だけでないものを期待していたので、これもまた残念だった。
- ◆ レッスンで英語の指示の直後に日本語で訳すように指示が出ていたのでいいのかな。と思った。音によるアルファベット並べでは、アルファベット順なのか、発音された順なのか、途中でわからなくなってしまった。
- ◆ 明日から使える指導法が多くあった。
- ◆ 講師の先生がどの立場で授業を進めているのか分かり辛かった。ALTの立場としてなら担任はほとんどサポートにまわっていたので、担任がどの程度主体で取り組むのがよいのか気になった。逆に担任が講師の先生と同じ事を行うというのは能力的にも難しいと感じた。自分も聞き取りづらい英語もあったので、リスニングを高めようと思った。
- ◆ 授業の中の指示等も英語だったので、聞く耳も育つし、英語に触れる機会が増えてよいと思った。ただの発音練習ではなく、自分の思いを話すことができるようになることで意欲的に取り組めると思った。貴重な研修となりました。
- ◆ We can！のLet's Listenやチャンツが難しく、授業での扱いに困ってしまう時がある。大きな動作やリアクションを授業の際に真似たいと思った。
- ◆ 1時間の活動内容が多いが、児童の発する機会、Repeat練習が少なかったと感じた。またルールの説明が分かりづらかった。これからホームルームティーチャーがメインで授業をやっているので、もっと簡単に子どもたちが楽しいと感じられる内容でないと、外國語嫌いが増えてしまう。45分座っているだけでは疲れてしまう。
- ◆ 鈴木先生の授業の流し方や児童のコミュニケーションの取り方（リアクションや受け答え）がとても勉強になった。
- ◆ 本日は鈴木先生に実際に授業を展開して頂き大変勉強になりました。これから小学校の教員に高いレベル（英語の指導力）が求められていくと思うと少し気が重くなるが、とにかく英語を楽しむ雰囲気づくりを担任が行ったり、学ばせたいこと、学ばせるべきことを明確にして、授業を展開したりする必要があると思った。
- ◆ 実際に授業を展開していただいたので、ALTとの関わり方もよくわかった。声をかけるタイミングも今まででは不安な部分もあったが、理解することができた。
- ◆ ALTと分担して発音など聞く練習ができればと思った。教師の技量が求められると感じた。

- ✧ 学習内容についてきている児童とそうでない児童がいるように見られた。英語で理解できない時には、日本語で説明する事も大切だと今日の研修で良く分かった。

### 船橋市立薬円台小学校（10月1日）

- ✧ HONDA やマックなど普段目にする看板の中に、多くのアルファベットがあり、それを使用することで、自然と児童の興味、関心がそちらに向くんだと感じた。面白かった。無理やり教え込むのではなく音で聞いて言えるようにするというねらいを実感できた。
- ✧ デジタル教科書を使った授業をあまり見たことがなかったので、とても参考になった。また研修では音の指導の仕方やアルファベットの書き方の指導法等実践的な事を学び勉強になった。
- ✧ 英語での細かな指示の出し方や授業の流し方がとても勉強になった。デジタル教材は効果的だと思ったが、子どもの座席によっては見えにくかったり、長文になると音声がうまく聞き取れなかったりするので、ALTをうまく活用する必要があると思った。
- ✧ 鈴木先生の明るく盛り上げながらの授業は児童を引き込み、子どもたちは自然と英語に慣れ親しむことができていたと思う。子どもたちは「英語」という母国語でない言語ということ、初めて先生との授業だということで、かまえたり緊張感をもっていたりしたようだが、T1 と児童、児童同士、英会話のやり取りをたくさんしたことにより、リラックスして学習をたのしめるようになったのではないかと、参観で目の当たりにした。
- ✧ 講師の先生の進行が明るく英語でのフレーズにも無理がなくスムーズだと思った。
- ✧ デジタル教科書は楽しく授業でき、よいなと思った。
- ✧ G と Z、a と u などの発音の違いが1人1人に身に付いているのかは、授業の中でどのようにして見ればいいか、知りたい。
- ✧ 教材（映像）が見えにくい子がいたので、場の設定の工夫が必要だと思った。
- ✧ 子どもたちの「R」などの発音がとてもきれいで驚いた。デジタル教科書はテレビに映すだけだと小さくて見えていない子もいるのでは？と心配になった。デジタル黒板が将来導入されれば改善されるのかな・・・とも。先生の発音、指導もお上手で参考になった。自分のみで授業する時に、参考にできると思う。
- ✧ 色々な教材を使用して、子どもたちにとって楽しい時間だったと思います。

### 八千代市立萱田小学校（10月10日）

- ✧ 小学校で既習の事が中学校で活かせるように小中で連携してやっていく必要があると思った。
- ✧ 初めて会う児童と授業をしている感じがなく先生が自然と児童と関わっていて児童に安心感を与えていた印象を受けた。先生の英語の指示で子どもたちがやることを理解していたように感じた。日本語の指示がなくても活用できることはあると思う。
- ✧ 「読む」から「書く」は中学校だと非常に苦労する点があり、今日の授業で少し糸口が見えた気がする。「書く」ことは自己表現の手段だと改めて感じた。
- ✧ 教師が話すところとデジタル教材を活用するところのバランスがよかったです。
- ✧ 具体的な指導方法も示してください、ありがとうございました。

- ◆ 研修の際に教えていただいた活動は実際に子どもたちも興味を持つと感じた。来週以降、クラスでも取り入れていきたいと思う。特別支援学級の子どもたちは教科書の内容だけだと集中力がなかなか続かず、動きがある活動だと取り入れやすく参考になった。
- ◆ 秋山先生が子どもたちに英語で話している様子を中学校の先生方も学んでほしいと思った。時にはゆっくり、繰り返し、繰り返し英語で質問したり、指示をしたりしていた。
- ◆ 映像が小学校の授業では有効的に使われていて良いなと思った。中学校にも導入されないでしょうか。
- ◆ 研修中、特別支援学級の生徒たちにも使える活動が多々ありました。ありがとうございました。
- ◆ 中学校での特別支援教室で授業内容に行き詰ることがあったが、アルファベットジングルを利用し、英語の音を聞かせて、音と文字のつながりを大切にし、文字を識別できる力についていきたいと思う。来週の授業から実践します。
- ◆ 小学校でフォニックスをやっていることがわかり、中学校での指導がスムーズになることがわかった。中学校でもデジタル教科書があると、便利かつ効果的な授業展開できると思う。
- ◆ 中1を担当した時に、書くこと（アルファベット）に困難さを抱える生徒は数人いました。中1でもこのように丁寧な方法もあるということが知りました。
- ◆ 子どもたちが自然に英語を耳にしたり、口にしたりしていて、とてもすばらしいと思った。テキスト、デジタル教材、ワークシートをすべて活用し、45分間をどのように組立てれば良いのかが、よくわかった。
- ◆ アルファベットのゲームを早速4年生で取り入れたい。
- ◆ 具体的な指導法について、様々なアクティビティを提案していただけたので、学校の実態に合わせて取り組めるようにしていきたい。
- ◆ 児童は、先生の話す英語を聞いて、がんばってまねしようとしている姿や、積極的に取り組もうとしている子どもたちが大変多くみられた。中学校の英語の中でも是非活用していきたい。
- ◆ 小中の交流がもっと必要であると感じた。

#### 船橋市立法典西小学校（11月1日）

- ◆ アルファベットの音読みの大切さがあらためてわかった。
- ◆ All Englishの授業はこのようにやればいいのかとイメージがわきました。自分自身、英語が苦手ですが、がんばって英語を話していきたいと思う。
- ◆ ほとんど英語で話されていてすごいと思った。自分がやるのは難しそう。
- ◆ 「読む・書く」の指導も授業の中にしっかり取り入れていきたいと思った。積み重ねが大切だと感じた。
- ◆ 小学校における英語の授業のあり方を考えるよい機会となった。
- ◆ 授業がとてもスムーズでとても子どもが楽しそうだった。
- ◆ アルファベットの読み書きのポイントがよく分かった。小さな積み重ねが大事だと思うので、低学年のうちからコツコツと取り組んでいきたいと思う。

- ❖ 読む／書くについての具体的な指導法について知ることができ勉強になった。自校で伝達し、自分自身の授業にも生かしていきたいと思う。
- ❖ テレビの場面でマウスの矢印の白が後方の席だと見えなかつたので、手で行った方が良かった。
- ❖ 授業準備する中、実態に合わせて内容を精選していくことがベストであることはわかるが、なかなか時間がとれず情けないです。今日教えていただいた内容が、すぐに取り組めるものが多かったので、実践していきたいと思う。
- ❖ ALTがいない中での授業は初めて見せてもらったが、大変勉強になった。英語での言葉かけを増やしていこうと思った。
- ❖ 子どもたちに英語に慣れさせる為の取り組みはいろいろあるが、Alphabet Jingle は 1 年生から扱っていいと知り、学級でもやってみようと思う。他の学級にも伝え、英語に慣れ親しむ子を増やしたいと思う。
- ❖ 母音の大切さ、音読み、名前読みと、基本的なものがとても重要だと改めて感じた。現状、担任が T1 の立場になかなかなれていなことが本校の課題だと思います。これを伝達し、より良い授業ができるよう頑張ります。

### 船橋市立若松小学校（11月8日）

- ❖ 指導案が直前になってしまい申し訳ありませんでした。また不慣れな点があり、すみません。消しゴムゲームがとても楽しく、子どもたちもよく取り組んでいました。先生の英語を聞き、日頃の担任の発音が大切になると思いました。
- ❖ 授業内でほとんど英語だったことが驚きだった。今日のモデル授業の良さを校内に持ち帰り、伝達していこうと思う。
- ❖ 子どもたちのコミュニケーションレベルが高く、とても楽しそうに授業を受けていたのが印象的だった。
- ❖ 自分が体験して研修できたので、とても理解しやすかった。授業をする際、アルファベットの音を大切にしていこうと思う。
- ❖ 先生の授業はテンポが良く、どんどん耳に英語が入ってくるような授業でとても勉強になった。あまり訳さなくても子どもたちは「こういう意味かな？」と考えて答えていたので、それで十分なのではないかと思った。“音”が大切ということで発音練習を頑張りたい。
- ❖ たくさんの英語を使った指導（指示）がみられたのですごいと思った。
- ❖ 英語の授業づくりは一つ一つ丁寧で、改めて難しく思った。でも、今日の研修を参考にがんばりたいと思います！
- ❖ デジタル教材と教科書を使ったわかりやすい授業だった。
- ❖ (Jingle) ○同時に言うと、よい発音が聞けない/間違ったまま→でも気づきにくい・・・ということがあるかと思った。○通してきく→option (もう一度きいてからまねする)、「よく聞いて正しい音を覚える」のが大事かと思った。
- （Can～？）もっとコミュニケーションにできそうにと思った。（動詞が事前に導入されていた場合）
- ❖ 発音が上手にできないので、今後一人で 45 分やるようになると、子どもたちに間違った音のイメージを与えてしまいそうだなど不安。がんばります。

- ✧ デジタル教材の使い方（「どうぐばこ」など）で知らないこともあった。こういう研修は、春に受けた方が実践に役立つと思った。
- ✧ 講師の先生と担任の先生が息を合わせた素晴らしい実践を参観させていただきました。（4年生）子どもたちが声を出しやすい環境づくりが担任の大きな仕事のひとつであると感じた。
- ✧ 担任の先生が日本語を挟むタイミングが難しいと感じた。生徒のリアクションが得られない時に説明するのは間違ってはいないが、結果として生徒の集中力が分散してしまっていた。小学校英語の目的を考えると、音声に絞った方が結果は上がりやすいと感じた。
- ✧ 私は英語が苦手ですが、歌は好きなので、映像資料をよく吟味し、児童が楽しめるような内容になればいいなと思った。
- ✧ 子どもは耳で聞き取ろうと思うものの、英語特有の発音を音に出すのは難しい。ピクチャーカードを頼りにしている子が多いと思うので、大きく（絵・文字）を示した方が混乱がなかったように思う。文字指導については馴染のある書く練習の方が子どもたちは自信を持って力を発揮できたのではないかと思った。英単語の発音練習の際には、言わない子も多くみられた。やっている内容は聞き取り、指示、内容、学習内容はわかるものの小学校の目指すものとは違うのではないかと思う。
- ✧ 教員に外国語 (English) が浸透していない中で、指導するのは大変だと改めて感じた。とにかく楽しんでいきたい。

#### 市川市立富美浜小学校（12月5日）

- ✧ 表情豊かで楽しい授業をありがとうございました。
- ✧ フォニックスやスペルの書き方などは、自分がまだ指導したことがないので、とても勉強になった。
- ✧ ○友達のために・・・という相手意識がある Activity で良かったと思う。○Today's Goal を子どもたちの言葉で作っているところがよいと思った。○今日のシートの中に振り返りがついているのを初めて見た。わかりやすくてよかったです。○前向きで English を楽しんでいる雰囲気がとてもよかったです。○HRT はにこやかでとても良いサポートをしていた。たまに、パッと訳を言ってしまうので、それはぐっとこらえた方が良いと思います。（子どもに言わせるため）
- ✧ 本校ではすでに実践している内容だった。
- ✧ 音と書き方の結びつきは「なるほど！」と思った。明日から実践したい。
- ✧ とてもわかりやすい研修だった。また、こどもたちの実態に合わせていろいろ変えて大丈夫ということが感じられ、安心した。授業が楽しく、子どもたちとはじめて会ったとは思えなかった。
- ✧ 実際に授業を見せて頂き、ポイントを説明していただき、よくわかった。発音や音が大切だとわかり、自分も練習しなければと思った。
- ✧ 先生の明るい雰囲気が子どもたちに伝わっていた。特に4年生は何のために（必要感）をもって取り組んでいた。子どもたちがとても意欲的でした。「読む・書く」の効果的な指導法、とても分かりやすかったです。ありがとうございました！
- ✧ 絵本の内容の選び方にはポイントがあるのか、気になった。

# 平成 30 年度千葉県教員研修資質向上研修アンケートコメント抜粋 (東葛飾)

インタラック関東北 千葉支店

## 野田市立福田第一小学校 (7月9日)

- ◆ 子ども同士のコミュニケーションの場面が見られるとよかったです。デジタル教材を効果的に活用されていて勉強になった。クラスルームイングリッシュを効果的に指示されていてよかったです。
- ◆ 学校の実態に応じてやっていきたいと思った。参考になるアクティビティがあつたのでぜひ実践したい。
- ◆ ふり返りで自己評価するために、児童にもっと見通しを持たせた方がよかったですのではないかと思った。折角の研修なのでオリジナルの指導案の授業を参観してみたかった。Jingle の活用法、31 words のしりとりなどすぐに使ってみたい。内容が盛りだくさんで大変勉強になった。
- ◆ 児童の実態をみながらすすめていて勉強になった。クラスルームイングリッシュの数が多く、自分も積極的に使っていこうと思った。
- ◆ 子どもたちが意欲的に取り組み、ターゲットである語や表現をたくさん練習できる授業だった。読む、書くというところで、実践を見ることができるとよかったです。やはり小学校英語の中で、どこまで定着させてから読み書きをさせるのかというところがポイントになってくるかと思った。
- ◆ 授業中に「書くこと」(読むこと)が、どうやって実践していけばよいのか見たかった。
- ◆ ゲーム方式でとてもわかりやすかった。子どもたちがつまずくと、必ず再度質問して、再度説明して子どもが理解しやすい状況をつくっていたと思う。指導者からの投げかけが多く、児童同士の活動がほしかった。

## 柏市立旭小学校 (9月7日)

- ◆ 小学校にも担当の英語専科が必要だと思う。
- ◆ 特学での外国語は難しいが、Alphabet Jingle は聞いてみようと思う。
- ◆ デジタル教材は有効に使用されていたが、音が聞きづらかったので、使うための環境を整える必要がある。
- ◆ ALT の先生と一緒に授業していくて、日本語で説明する時に罪悪感があったが、今日のお話を聞き、児童に安心できる外国語活動にしていきたいと思った。
- ◆ 今年度が1年生なので、英語の授業を見たのが初めてで、「難しいな・・・」と感じた。今のうちに吸収しておこうと思う。
- ◆ 外国語の授業への勇気をもらった。児童が慣れ親しむことを大切に指導していきます。
- ◆ 「教師も一緒に慣れ親しむ」という言葉が印象に残った。自分が使える Classroom English を早い内に増やしていきたいと思う。
- ◆ 日本語とは違った言語を知りたい、もっとやりたいと思えるように、学級経営を行っていきたい。普段から意欲付けが大切だと感じた。
- ◆ モデル授業の参観は勉強になった。できるなら、各学校でモデル授業をしていただけるとよいかと思う。学校によって実態が様々なので、自分の学校のレベルではどのような授業を行うのか、見てみたいです。
- ◆ 授業の流れやポイントがしっかりつかめた。ALT との T.T なども今後勉強したい。

- ❖ 動作を取り入れてもいいのでしょうか。

### 松戸市立東部小学校（9月12日）

- ❖ 英語が苦手な先生やT1で行うという場面での不安が残った。
- ❖ 表情豊かにテンポよく明確な指示を出すことの大切さを改めて感じた。
- ❖ 教師の英語力が求められると思うので、教師のための英語力UP(各学校)研修が必要です。
- ❖ 英語を苦手とする担任が多くいる中で、どのような指導をしていけば良いのか、もっと知りたかったです。
- ❖ どのように授業を進めたらいいかわからない中で、本日参観させて頂き、目指す授業が見えたようにおもいました。
- ❖ 実際に授業をみて、スムーズな進め方を実感することができました。
- ❖ 授業の流れがスムーズで、最初緊張していた子どもたちがみるみるうちに、リラックスする様子が見られ、驚いた。“Show me” “Look at ボード” のように簡単な英語を覚えておくと、英語が苦手な教員でもリラックスして授業に取り組むことができるのだと参考になった。
- ❖ 5年1組の授業をしていただきありがとうございました。児童が緊張してしまい…という面もありましたが、児童は、内容はわかった。わかるものが増えた。と話していました。動作化することの大切さ、『お道具箱』等実践していきたいと思います。
- ❖ 松戸市ではJolly フォニックスを進めています。
- ❖ 授業のテンポや子どもへの声掛けの仕方などとても勉強になったので取り入れていきたい。
- ❖ デジタル教材のお道具箱を効果的に活用できるよう研究していきたい。

### 柏市立第五小学校（10月11日）

- ❖ 難しい内容だと思った。今日の授業は今日の講師の先生だからできる事だと思った。そこまで英語力がない先生（自分はもちろん）で授業が出来るかというと疑問。他のやる事が多かったり、難しかったりする中なので、英語への力を入れるのは難しい面もあると思った。
- ❖ 「外国語に慣れ親しむ」という目的なので、レクリエーション的な要素をもっと取り入れた方がより児童の実態に合ったのかなと感じた。
- ❖ 英語ができる子（習っている子）とできない子の格差が算数以上に出来てしまうのが心配。そうならないための授業づくりが出来るかどうか不安。
- ❖ もう少し全体でまとまって発音するタイミングなどがあって、単語などの練習をすることがあつてもよいと思った。子どもに言わせるのか言わせないのか、子どもたちも迷っている感じで、声が小さい時もあったので、私たちも指示を明確にしていきたいと思った。
- ❖ 4年生でアルファベットの書き方が難しいと感じている子が多いので、アルファベットの1階、2階、地下1階の覚え方はぜひ参考にしようと思った。
- ❖ 英語を常に話し続けて授業を行うことは難しいと感じたが、少しでも話せるように個人的にがんばりたいと思えた。
- ❖ ALTとのTTも見てみたいです。
- ❖ 実際の授業で使っていける実践を教えていただき参考になった。

- ◆ ジングルでアルファベットの音を知ることで英単語を初めて見たときに発音を予想することができていいなと思った。クラスで実践してみたい。
- ◆ 授業の開始から英語で話すことで子どもたちの興味・関心は高まったように感じた。ただ、低学年(3・4学年)では、少しわからず、つらそうにしている子もいたので、少しずつハードルを下げていくことも必要だとよくわかった。Classroom Englishをたくさん活用したい。
- ◆ 英語をどのくらいの内容で教えればよいのか、時々悩みながら指導している。Classroom Englishをもっと活用できるようになりたい。授業終わりの歌もやってみようと思う。
- ◆ 会話から学びを引き出していくのが苦手で、今日の先生のご指導で大変勉強になった。子どもたち同士の会話の機会も多く楽しく学べている様子だった。歌など早速、取り入れたい。
- ◆ 授業の内容では、聞く時間・話す時間がはっきりとしていて、活動も充実している感じがした。聞くことに集中できる良い授業だと思った。そのような雰囲気作りも大切だと感じた。
- ◆ さらに授業で使える小ネタをたくさん持つといいと思った。

#### 柏市立高柳小学校（10月15日）

- ◆ 同じ土俵にのれずに何を言っていいのかわからないペアが何組もあった。チャイムが鳴ったら終わりにするのは、どの教科でも同じはず(思考がそこで途切れる)
- ◆ いつも外国語指導員の先生が考えてくださる授業の流れがわかりやすくて良いと思った。6年生はこれまでの学習で学んできた内容がよく頭に入っているなと思った。黒板に貼るカードの字をたよりにする子がいるので、もう少し大きいほうがいいと思った。
- ◆ 説明は英語だと伝わっていない。英語で話せばいいということではなくて、児童の様子を見て変えた方がいいと思った。指導案通りに流す研修で良いが、なるべく子どもが話す機会を少しでもふやせるといいと思った。
- ◆ 今日の授業を通して、Classroom Englishはがんばっていこうと思う。今後は教科化に向けて評価の面が気になるところなので、また研修を受けたい。
- ◆ 自分はいつも日本語をたくさん使ってしまうので、できるだけ日本語を使わずに児童に問いかかれる授業は大変勉強になった。児童がわかる言葉を一生懸命聞き取ろうとし、真剣に聞いている姿がよかったです。今日は復習だったのでわかっていることが前提なので楽しい授業になるが、わからない子どもたちの理解を深めるのは難しいと思った。
- ◆ 英語を4線ノートに書く指導、声のかけ方、勉強になった。4線→普通のノートへの指導について、また符号についても知りたいです。毎時間使うものはパウチとマグネットで作っておくと良いなと思った。中1生を教えているが、小学校でここまで学んでいるとは思わなかった。
- ◆ ALTとT1でやり取りする授業も見たかった。「書くこと」は今色々と子どもたちに取り組ませているが、これから行う時に役立ちそうなものがいろいろとあった。
- ◆ 移行期間中にこの内容は難しいと感じた。ICT環境が整っていれば担任の先生も抵抗なくできると感じた。一方でICT環境が整っていないと、今日みせてもらった授業内容は難しい。教わる単語や文が多い中、色々な方法で繰り返し練習を重ね、子どもたちはたくさん会話していたように思った。

- ❖ めあてを授業のはじめに提示することで、児童が見通しをもって学習できると思う。対話するならば、もう少しキーワード、キーフレーズの練習があるとよかったです。フォニックスを少しずつ入れていくことの良さを改めて感じた。
- ❖ 授業中の指示が英語だったため、子どももたくさん英語に親しんでいた。自分や学校の先生方もまねできたらと思う。
- ❖ 初めて小学校の授業を見たが、レベルが高いなと思った。アルファベットの説明で1F、2F、頭を天井に、足を地面につけるなど、すごくわかりやすくて、取り入れたい。またこのような研修があれば参加したい。
- ❖ 鈴木先生が授業の中で Classroom English を多く使っていました。メモしたので今後使います。

### 松戸市立和名ヶ谷小学校（10月15日）

- ❖ 目標とゴールはどのように結びついていたのか、批判ではなく疑問に思います。思い出の学校行事についての発表でYから始まる単語ゲームは何が関係しているのでしょうか。「間違えても認めてあげて訂正する」が心に響きました。
- ❖ 英語を自分が話すことができず、同じことはできないと思いました。むしろできないことばかりで、悩みが増しました。学校に戻って何を伝達したらよいのか・・・。
- ❖ 英語で話すだけでなく、表情やジェスチャーを入れて伝えることが必要だと感じました。児童はそれをもとに読み取ろうという意識があるため、自分も積極的に取り入れていきたい。
- ❖ 1回目と2回目とで、同じことをやるにしても変化があり、勉強になった。教科書を見ても分かりづらい授業も、実際に見て、やり方が分かり、とても参考になりました。
- ❖ 授業について、子どもたちは英語がわからなくても知っている単語や先生のジェスチャーなどから聞き取ろうとしているのがわかったので、英語を積極的に話していきたいと思ったけれど、話す自信があまりなく、なかなか難しいなと思った。  
アファベットにふれるゲーム（音の学習）をたくさん知ることができ、いろいろな学年で形を変えながら行えたらと思う。
- ❖ アルファベットの音について大きさに気づきました。
- ❖ アルファベットの音をしっかり身につけることが「読むこと」「書くこと」につながることがわかりました。
- ❖ 45分間の展開では英語での授業、とても勉強になった。ただ、同じようにはできないと思った。児童にほめる声掛けや、デモンストレーションで例を示すなど、英語だけでは伝わりにくい点を工夫しており、その点は取り入れられそうです。  
今後、授業の中でも使えそうなフレーズをたくさん教えていただいた。是非授業で使いたい。全て英語を使って授業を行うのは難しいと思うが、出来る限りがんばりたい。
- ❖ All English の授業を導入することが現状では難しいと感じている。できることから始めようと意識して、取り組もうと思う。
- ❖ 3年と6年の授業を見せてもらったことで、積み重ねの授業が大切であることがよくわかった。音と文字を結びつけていくよう、自分自身も教材研修を進めていきたい。
- ❖ 子どもたちが指示をよく聞き取り、反応していたところがすごかったです。様々なアクティビティを知ることができました。

- ◆ サイトリーディング(掲示や絵カード)でスペルをインプットできることを改めて知り、授業の中やクラス掲示等で活用していきたい。私自身、発音に自信がないため、これから子どもたちと一緒に学んでいきたいです。
- ◆ 横尾先生の All English な授業、とても勉強になりました。ただ、先生のご指導方法で授業イメージが持てたかというと、ただただ不安な気持ちが増しただけです。
- ◆ 指示を全て英語で言う事ができず、自分にも自信がなかったのですが、少しずつ練習したい。
- ◆ 最近、英語の学習は「音」が大切だということを聞いた。今日の研修でもやはり音が大切だということを言われていたので、私自身も音の出し方を学んでいこうと思う。
- ◆ 文科省の指導案等をもとに、自校の実態に合った指導内容、アクティビティを見つけていくことが大切ですね。本格的に教科としてスタートする前に、準備をしっかりと進めることが大切だと思います。
- ◆ 英語で授業を進めることに抵抗があったが、自分の知っている単語(語い)でも充分できることがわかった。指示をどう出すか、どのタイミングで使うのかが、特に今日の授業の収穫です。
- ◆ 正しい発音を教えなければいけないという思いから、教師の方も苦手意識を持つ者が多いと思います。その点もご指導いただけすると嬉しい。素晴らしい授業をありがとうございました。
- ◆ とても勉強になった。本校は英語のインストラクターに来てもらっているので、子どもの実態に合わせたアクティビティを考えていきたい。文科省の指導案通りや、[We Can!]の内容を全て行うのは難しい実態もある。上手に活用して英語を楽しんでもらいたいと思う。

#### 流山市立八木南小学校(10月26日)

- ◆ レッスンは3年生を教えている。モデル授業を見学したが、自分でどのように指導してよいかわかりづらかった。ところが、研修は3年生でも使えそうで、ローマ字を教える今、使わせてもらいたいと思う。
- ◆ ジングルや音読みについて詳しく知ることができ、良い学びとなった。研修で使っていたゲームはどれも児童の学びにつながりそうだが、英会話経験のないような教員の発音でやっても良いのだろうかと疑問に思った。
- ◆ 英語で説明されていて、素晴らしいと感じましたが、言葉数が多く、児童が戸惑うのではないかと思った。
- ◆ 休み時間に子どもたちが「Can you?」とインタビューしにきました。「インタビューする」という目的があると、学んだことが身に付きやすいと感じた。書く時に「H」「S」「△」「○」を使っているのがいいと思った。
- ◆ 漠然とした知識しか持っておらず、どのように配慮し、授業を展開していったらよいのかわからずにいたので参考になりました。普段の担任が行う授業も参観してみたかった。
- ◆ 授業で使える活動をたくさん教えていただいたので、今後に活かしていきたい。
- ◆ 日々悩みながら指導をしています。ちょっとしたアイディア、子どもたちに取り組みやすく楽しめるアイディアを教えていただきました。早速、次の授業で取りくんでみたいと思う。
- ◆ 自身が今後発音の指導をする際、効果的に指導する助けになった。

- ◆ Alphabet Jingle を活用していなかったので、今後は指導していきたい。
- ◆ 外国語主任として授業展開に困っていたので、勉強になりました。
- ◆ いつもとは違う環境での授業なので、子どもたちも緊張していて、進行は大変だったと思う。外国語が本格的にスタートし、新しい教科書の文科省が出している指導案は難しく、私の学校の子どもたちに教えるには厳しいので、アレンジして使ったり、ほとんどは学年で Lesson ごとに割振り、1 から作ったりしています。少しでも楽しく学ぶ事ができる内容を考えている日々です。本日の 4 年生の中で「難しかったら日本語で質問してもいいよ」といっておられましたが、それでもいいのですか？ わからなかったら「なんて言うんだっけ？」と周りに聞いて少しでも慣れる事が大切なのはと、思います。
- ◆ 学習の目標を明確に示さないと、子どもたちは何ができるべきかわからないと感じた。黒板に書いたり、繰り返し強調して言ったりしないと、小学生が目標を持って学習に取り組むのは難しいのではないかと思う。音については、学習指導要領には a[エイ] と聞いて、a と分かればよいと書いてあります。ですが、子どもの耳を育てるために音で覚えさえることも大切だと思った。
- ◆ 指導書の指導案が難しかったので、子どもの実態では理解が厳しく苦しい 1 時間だったと思う。
- ◆ 先生の明るくあたたかい雰囲気が初対面の子どもたちも安心して授業を受けられることにつながっていたように思う。担任だと 7 クラスの子どもたちも慣れていて、指示が入りづらいところがあるって、授業中、何度も Stop ! Listen ! と言ってしまいがちだが、聞かせるところは聞かせるメリハリのある授業展開をしなければいけないと感じた。
- ◆ 英語の雰囲気作りを参考にしたいと思った。どんな先生でも素敵な雰囲気作りが可能になればいいなと思った。今日の指導案を参考にして、いつも作り変えて授業をしている。(Listening など、全て取り組めていない。時間が足りない) 実態に合わせて作っていくことが改めて大切だと思った。できれば今日の振り返りを見てみたかったと思う。研修のようにじっくり音読みながら、読めるまでの活動をやりたいなと思っているが、なかなか時間が取れずじまい。教員も子どももみんなが英語を楽しくできるようになつたらいいなあと改めて感じた一日だった。やはり英語は楽しいです。
- ◆ とても明るい先生で、楽しい雰囲気を出しておられた。やはり英語だけの説明だけだと指示がうまく伝わらず、日本語での説明になってしまふのだと感じた。先生の言われた通り、ジェスチャーやデモンストレーションが大切なのだと学んだ。また活動の時間を取りることも難しいのだと実感した。私もこれからいかに説明を短く、活動時間を長くするかを考えていきたい。
- ◆ 音を読むことは、少しずつやりたい。
- ◆ 外国語を指導する上でまだまだ難しい点はあるが、教材研究を積み重ねていきたいと思う。

## 我孫子市立湖北小学校（11月15日）

- ◆ 指示の出し方をはじめ、細かな部分まで大変参考になった。
- ◆ チャンツ～Let's Read and Write～絵本までのつながりがなく、せっかく場所や位置をやったのにそれが深まる内容ではなかったと思う。またいきなり複数形が出てきたのもよくないよう思う。フォニックスに関しては今後考えて入れていきたい。コマンドゲームはやりたい。
- ◆ これから変わっていく英語教育をあらためて考えることができた。
- ◆ 4年生と5年生のモデル授業を見せてもらい、大変勉強になった。英語でコミュニケーションを取ることはなかなか難しいもので、活動に消極的な児童もいる。学校に今日学んだことを持ち帰り、楽しい雰囲気のある授業発表、発音しやすい学級を作りたいと思う。本校は外国語担当がいるため、一人ひとりの教員が英語の授業の関心を高められるよう、伝達したいと思った。
- ◆ 子どもが楽しめる授業、そして英語を好きになれるようなゲーム等、参観と指導で非常に勉強になった。T1 であれ T2 であれ、日本語と英語の使い分けをいつも難しく感じるが、児童の実態に合わせれば良いのかと、本日の授業を見て思った。
- ◆ 担任の先生が日本語をたくさん使っていた。実態によると思うが使いすぎと感じた。
- ◆ ALTを中心とした学習が多い現状があるので、職員に周知し、担任中心で行えるよう努力していきたい。
- ◆ 新しいレッスン方法を知ることのできるこのような機会はたくさんあると良いと思った。
- ◆ 子どもたちが楽しみながら英語にふれる時間を作るために、様々なアクティビティや方法があることを学んだ。是非これから実践していきたい
- ◆ デジタル教材についてもう少し勉強しないといけないと感じた。
- ◆ 子どもたちもアクティビティに積極的に参加できていることは良かったと思う。レベルの高い会話をしていたと思う。
- ◆ デジタル教材を活用して今後の授業でチャレンジしてみたい。
- ◆ インタラックさんの講習を受けるのは2度目で、特にフォニックスの学習がとても大好きです。今日のしりとり、とてもおもしろかったです。教えてもらったことをもとに頑張ります。

## 柏市立富勢小学校（11月20日）

- ◆ 小学校での外国語活動の授業がどのような内容で行われているのかを実際に見ることができて良かった。中学校へのスムーズな進学につなげたい。
- ◆ まずは「音」をという研修での話の中ですぐに使える指導法をたくさん教えてもらえた。（デジタル活用、しりとり、アルファベット表等）すぐ実践してみます。
- ◆ 「音」（ジングル）の大切さをとても感じた。本校でも活用していきたい。
- ◆ 楽しい授業をありがとうございました。子どもたちがまったく飽きずに一生懸命取り組んでいたのがよかったです。
- ◆ リズムのある授業に大変関心しました。大変参考になりました。
- ◆ 大文字、小文字の書く位置の説明がとてもわかりやすかったです。
- ◆ しりとりがおもしろそうだったのでやりたいと思った。また授業の時に流れが表示されてだったので、いいなと思いました。

- ❖ 打ち合わせ等大変かと思いますが、担任の先生との Team Teaching が見たかったです。わかりやすく参考になりました。
- ❖ 本日は久しぶりに「これだ！」という外国語の授業が見られてとても楽しく勉強になりました。英語活動を学んでいたころ（以前）より「書く」に関してどうやるといいかなという疑問が今日明確にわかりました。子どもたちが楽しかった。分かりやすかったです。と言っていました。

### 柏市立第八小学校（11月20日）

- ❖ 今は低学年の担任のため、すぐに授業に・・・というわけではないが来年に活かしたい。
- ❖ このような研修は夏休み等にしてもらえると授業に活かせると思う。
- ❖ 今後すぐにでもクラス内で活用できそうなものや、校内で練り上げていった方がいいものなど、英語の知識が不十分な私達でも出来る活動を教えてもらえた。
- ❖ 講師の先生のように発音できないため、やり方がとても素晴らしいと思って、どう進めて良いかビジョンが持てない。音声教材はあるが、子どもとのやり取りで、教師側が発音できた方が便利だが、正しいと思って聞いている音が、教師が正しくできなければ、子どもを混乱させてしまうことにつながるかもしれない。教材の準備も多く、用意まで手が回らないのが現状。不安しかない。担任によって英語力に差が生じると思う。
- ❖ 6年生は、今までアルファベットもほとんど書けないので、突然文法や単語を書くことを要求され、かなり苦痛になっている子どもがいる、テキストも、2種類あり、わかりづらい。これでは中学校でうまくスタートできるか不安である。6年生で単語や文法を始めているのに、中学ではゆっくりアルファベットから始まる・・・なんかおかしな気がします。
- ❖ 関心だけでなく、読み・書きも大切と改めてわかりました。
- ❖ 読むこと・書くことについて、段階ごとの指導法を知ることができた。
- ❖ 現在私は2年生の担任ですが、子どもたちと共に行いたいなと思えるゲームがたくさんあった。英語授業の研修は初めてで、とても勉強になりました。
- ❖ 子どもが生き生きと活動していたのが印象的だった。以前に比べてずいぶん高度な内容になっていたが、指導法で楽しくわかりやすく学習できることがわかった。
- ❖ 楽しい活動をたくさん知れてとても勉強になった。内容に合わせて活用していくと思う。
- ❖ 外国語活動の面白さを改めて気づきました。音とリズムと体を使って、子ども達にさらに英語を好きになってもらいたい。
- ❖ 発音指導に特化した指導内容だと思った。やや抵抗感を感じる。
- ❖ 2階建て、1階建ての話はとても役立ちそうでした。ALTとの分業をうまくすることでフォニックスに役立てるのかな。と感じました。
- ❖ 外国語がどんどん小学校に取り入れられる中で、好きなのだが英語をあまり話すことができず、主要教科を教えるのにも時間がいっぱい、今後どうしたらよいのか、不安と心配がある。
- ❖ 書くことの活動のポイントが今回わかった。実践していきたい。
- ❖ 実践で活用できる活動が多く学べました。学校にもどり、研修を行って他の教員にも伝えたい。

### 柏市立藤心小学校（11月30日）

- ◆ とても楽しい授業で、初めて見るゲームもあったので、参考にしたいと思った。
- ◆ 英語はテンポとリズム、楽しさ、ジェスチャーが大事なのだなーと改めて感じた。今後の授業の参考になった。活かしていきたいと思う。
- ◆ 子ども達の外国語に関する興味をとても感じた。担任の先生方のジェスチャーや声かけがすてきだった。音に関する学びが、今後生かしていくべく助かった。
- ◆ 一緒に授業して楽しかった。
- ◆ ALTの現状との違いが大きかったので、どのようにしていけばよいか分からなかったが、目指すものは分かった。
- ◆ 「音をつなげ2単語を読む」が勉強になった。歌の動画を使ってみたいと思う。

### 柏市立第三小学校（12月3日）

- ◆ 子どもたちとのやりとりの中で楽しい Classroom English があり、たくさん学べた。
- ◆ 週に1回、T1で ALT の先生と共に外国語活動の授業を行っています。単語ばかりの練習をしていたので「基礎の音」の大切さを今日、学べた。自校で共有し実践していきたい。
- ◆ 1/8 だったのでリスニングが多かったのだと思う。英語のインプットがたくさんあった。子どもが first と fast の違いに気付けたのも良かった。実態に合わせて、書く活動やペアワーク等も取り入れたいと思う。
- ◆ 新しいことをたくさん知った。また鈴木先生のお話し、授業を聞きたい。
- ◆ デジタル教科書の活用法をくわしく学べた。
- ◆ 授業の中で、児童に対してたくさん声かけをしていた。[
- ◆ [Here we go!] [All right] [Very good] などたくさんほめられる感覚があった。取り入れていきたいと思う。
- ◆ 外国語の授業の流れが確立されており、児童たちがはずかしがることなく、楽しそうに活動に取り組んでいる姿が印象的だった。
- ◆ ほとんど英語で進めていて、英語を聞き取る環境が素晴らしい。カードや流れが視覚的にわかりやすい。（ジェスチャーも多かった）Listening のところは、答えを聞いた後、確認するため、もう一度聞いた方が良いと思った。Activity が少なくずっと座学だったので、ジェスチャーを入れながら、子どもたちに言わせてもよいと思った。動物のチャンツをなぜやるのか、意図をはっきりさせて練習させてもよかった。全体的にほめ言葉がたくさんあってよかった。
- ◆ できることから、学校で取り組んでいきたいと思う。
- ◆ [Good job!] [Nice!] 等、子どもたちどうしの声かけが温かく、日頃のご指導がいいのだなと思った。[Watch and think] などは何度も聞かせて「なんとなくわかった！」という成功体験を積ませたい。（習っている子が多いから分かったのかも？）専科で教えるという普段知っている授業とはちがった雰囲気の授業を見せていただき、子どもたちと先生とのやりとりがとても楽しそうで、勉強になった。
- ◆ 参考になる点が多数あったので、学校に伝達していきたいと思う。Can を扱う Lesson で Can 程度に子どもが悩む姿が時々見られる。得意なのか、できる！と言えるのか等、考えてみたいと思う。

## 鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷小学校（12月4日）

- ◆ クラスルームイングッシュが流暢に出てくるように勉強したい。ローマ字学習と並行してやっていくことに難しさを感じた。
- ◆ 教師が積極的に英語を使うことで、子どもたちも一生懸命「聞こう」「答えよう」と意欲的になると感じた。自分に自信はないが、がんばろうと改めて思った。
- ◆ letters word を使ったクイズを実践してみたいと思った。[alphabet jingle] が [We Can!] の中にあることを初めて知ったので使ってみたい。本日の内容を少しでも他の先生方に伝えて、より質の高い外国語の学習を行っていけたらと思う。
- ◆ All English の授業、とても勉強になった。小学校の授業で All English で行うのは難しいと思うが、なるべく英語で簡単な指示ができるようにしていきたい。
- ◆ 本日は、5・6 時間目と協議会をありがとうございました。外国語は楽しみながら取り組んでいるが、ローマ字に苦戦している様子が多々ある子どもたちです。
- ◆ 正直、外国語の授業には不安が多く、先行きの見えない思いをしていたが、様々なフォニックスや指導方法を教えてもらい、大変勉強になった。今後、学校に持ち帰り、多くの先生方へ共有していきたいと思います。
- ◆ やはり All English は、非常に大きな価値があると再認識した。本校は通常は日本語がかなり登場するので、本日の授業は難しかった。しかし、目前の 3 か月くらいを取るのなら日本語を入れるべきだが、それを超えるためには、やはり All English が必要だと実感した。
- ◆ 初めての All English の授業で、子どもたちも緊張している様子でしたが、繰り返し同じ言葉を投げかけたり、ときにジェスチャーを使ったりして展開していくと、少しずつ理解していくのだなと感じた。
- ◆ 1年生の担任です。フォニックスは早い段階でも楽しく取り入れられるのではないかと思った。All English が理想だが、ハードルが高い。でも、楽しんで見ることができた。
- ◆ 中1を教えている。子どもたちの発音は、とてもきれいになっている。小学校外国語活動で、聞くこと・話すことに慣れた成果が出ています。一方、中学校に入学した時点で自己紹介カードを書かせたときに苦手な教科として英語をあげる生徒がいる。英語嫌いにならないか心配。
- ◆ 「読むこと」「書くこと」の指導に困ることがあったので、本日は大変勉強になった。
- ◆ 横尾先生のクラスルームイングリッシュがとても勉強になった。
- ◆ 今後の活動に向けてとても勉強になった。学校職員に伝え、「読み」「音」を意識できるようになれればと思う。
- ◆ 揭示物の文字が見えにくいと思った。今後、「読むこと」が出てくるので、もう少し強調しても良いかなと思った。子どもがローマ字読みでがんばっていたので、もっとそこをひっぱれる工夫があるといいなと感じた。また、言葉のおさえ（言い方）等、もっと知りたいと感じた。もう少し発音場面が多いといいなと思った。先生のホームルームイングリッシュが少し難しかった気がします。
- ◆ Classroom English の研修をしてほしい小学校の先生が多いようです。先生方自身の英語力の研鑽ができるとうれしい。

# 平成 30 年度千葉県教員研修資質向上研修アンケートコメント抜粋 (北総)

インタラック関東北 千葉支店

## 佐倉市立志津小学校 (7月4日)

- ◆ 知っている音はわかる。知らない音はわからないという言葉が印象に残った。ALT が話している言葉に全く反応しない児童の姿をよく見かける。やはり日常から英語を使って話していく必要性をとても感じた。
- ◆ ある程度英語がわかって、スムーズに使えることが担任だけで授業をする時には必要だと感じた。1人で 45 分を子どもが十分に活動できるようにするのはかなり大変だと思う。
- ◆ ABC の Sounds Song という形でキラキラ星を歌ってフォニックスを覚えさせていたが、絵のついたアルファベット Jingle も使っていきたいと思った。
- ◆ 短文を繰り返すこと、教材をうまく活用することなど多くのポイントがわかった。
- ◆ 子どもたちは「何を言っているかわからなかった」という感想が多く聞かれた。講師の先生がずっと話しをしている授業で、担任がかわりに(同じように) 授業を行うのは難しいと思った。ジングルを活用するなどやってみようと思った。
- ◆ 活動③と④の大切さは理解できた。それを 3・4 年で行うのは、まだ発音中心なので、必要なのかどうか? ところどころで行うのならできると思うが・・・。やはり教科書の指導内容を追うことで手いっぱいになってしまっている。あれもこれもしたいが、他教科もあるので、そんなにできないのが現状。実態は、子どもたちが耳で慣れる、聞くのが精一杯。
- ◆ モデル授業ではこの 1 時間で何をメインに学ばせたいのか、よく分からなかった。子どもたちもついていけない子がいた。研修で教わったこともほとんどすでにやっていることで新しく得たものがあまりなかった。また、研修でやっていた内容をモデル授業でやってほしかった。
- ◆ 授業を参観して、教師側は日本語をなるべく使用しないようにすることも大切なのかなと感じた。
- ◆ 現在形と過去形の概念を教えるのは難しいと感じた。特に現在形はむずかしい。「遠回りしてきた」「近道がたくさんあった」という言葉が印象に残った。音をもっと大切に授業をしていきたいと思う。
- ◆ (1) デモレッスンについては次の点で改善が必要と考える  
①授業構成の精選(何を学ばせたいのか、明確にわかるものにする) ②扱う内容と質 ③授業のスピード(もっとゆっくり) ④担任の役割 ⑤ALT が活躍する授業ではなく子どもが活躍する授業への転換 ⑥Classroom English の習得 ⑦板書の工夫 ⑧単元計画の見直し ⑨支援を要する子どもへの指導 ⑩子どもの活動が少ない ⑪一単元時間での重点の焦点化(読むのか、書くのか、話すのか、単語か、一文か)
- ◆ (2) 次の点が明確に分かる授業をデモしてもらいたい  
①指導者側の意図=何をしたいのか ②子どもたちにどのような力を身につけさせたいのか
- ◆ (3) 研修で教員に向けてやった活動をデモ授業の中に取り入れると、子どもたちに力として身につけられる部分があったのではないかと思う。そうすることで研修内容も説得力が増すと考えられる。

- ◆ 貴重な学習の機会をありがとうございました。子どもたちも考えて、たくさん話をして何より楽しい学習ができたと思う。講義の中で教えてもらったことを授業で使っていきたい。
  - ◆ ○Classroom English を学校、あるいは市でしっかりと決め、英語の時間に教師が「これだけは」英語で言うというものをきちんと示す。継続して使用することで教師も児童も言葉と意味をしっかりと覚えることができるようになる。(担任が All English というのはかなり厳しいと思うので) ○1回きりの授業であるので講師の方も思うような授業ではなかったのでは?と思う。45 分で終わらせなければというのもあり、講師の先生が早口である印象を受けた。また子どもの学習より、講師が話す時間が多いうに感じた。○机はあった方がよいのか?
- 今までの英語では、いすや机がないことが多かった。45 分間座っているというのは驚きだった。
- ◆ 子どもたちの実態にあまり合っていなかったように思う。
  - ◆ 鈴木先生のすてきな発音が印象的でした。
  - ◆ 研修を受けて [All English] で授業することの大切さとやろう!という気持ちになった。
  - ◆ Unit で扱う単語も多く、子どもたちの戸惑う様子も多かったかなと感じた。研修ではすぐに実践できそうなことを教えていただき、さっそく、やってみようと思います。
  - ◆ 研修の中で音を出すことが大切だと教えてもらい、アルファベットジングルの活用方法を知ることができたので、早速クラスで実践していきたいと思う。

#### 富里市立根古名小学校 (7月11日)

- ◆ 中学1年生でもかなり音が入っており、早い段階で耳に慣れておくことは非常に大事だと感じている。今日の授業を参考に中学校でも生かしていきたいと考えている。
- ◆ 授業では日本語を使って良いということを聞いて安心した。英語に対して苦手意識を持たせないような授業の工夫が必要だと改めて思った。
- ◆ 書くことの指導についても具体的に知りたかった。1時間の間にどのように進めていくのか、どこまで書けるようにすべきかなど。
- ◆ 丁寧にゆっくり挨拶などを繰り返し、わかりやすかったと思う。また、色々な絵も導入で用いていてわかりやすかった。

#### 銚子市立清水小学校 (7月17日)

- ◆ アルファベットの並べ替え、暗記の活動は本校でも取り入れていきたい。
- ◆ 大変勉強になった。校内にも広めていきたい。
- ◆ 教科書の学習を進めることができ手いっぱいなかなか指導書以外のことを行うことは難しいが、ポイントを教えてもらえたので、工夫した学習を進めることができるよう、頑張りたいと思う。
- ◆ Jingle を基礎とした発音の基本作りの重要性がよくわかった。初めての教科、3年生はとても楽しく学習しているので、その楽しさをそのままにより充実した内容の指導を行っていきたい。
- ◆ 始まったばかりでわからないことも多かったので、大変勉強になった。
- ◆ 大変勉強になった。たくさん土産をもらいましたので、子どもたちに還元していきたいと思う。

- ❖ 3年生は内容的にもよいが、5年生には内容もレベルも量も多すぎて、子どもたちがかわいそうだった。他学年も同様だが、どのようにこれらをこなしていったらいいのでしょうか？
- ❖ 小学校で始まった外国語指導について知ることができた。小学校で学んだ内容について、中学校でもしっかりと理解し、中学につなげていけるような指導計画を我々も考えていかなければいけないと感じた。書く指導について、中学で指導しているものと異なることが2～3あり、子どもが戸惑うのではないかと思った。

### 八街市立八街東小学校（7月18日）

- ❖ デジタル黒板は見えにくいので、教員側の工夫が必要だと感じた。研修会では知らなかつたことがたくさんあり、とても勉強になったが、正しい発音ができないので、そういったところをALTにお願いしようかと思った。
- ❖ 子どもたちが楽しそうに活動しているのがよかったです、あまりにゲーム等が盛り上がりすぎると、ゲームをしているのか、英語の学習をしているのか、忘れてしまう時があるので注意が必要だと思った。
- ❖ Jingle を使うことで自然とA B C D…と頭の中で唱えているということがわかった。他にもどのような教材があるのかを知りたいと思った。
- ❖ 授業や研修を聞いていて、発音は難しいなと感じた。
- ❖ ありがとうございました。テンポよく大変わかりやすかったです。
- ❖ テキストの中にも使いやすいものが多数あることがわかりました。
- ❖ 中学校で使えるものは使わせていただきます。
- ❖ デジタル黒板が教室の後ろの児童には、小さすぎて見えなかつたようだ。場所によっては光って見られない児童もいた。活用するなら、もう少し大きくできるとよいと思う。また手元の教材と一緒に活用していくようにしたいと思った。  
デジタル黒板は、少人数への指導にはわかりやすくてよいと思う。
- ❖ ALTの先生に発音やセンテンスの講義、ゲームの紹介をしてもらったことはあったが、日本人教員の立場での講習はわかりやすく、ありがとうございました。
- ❖ 1人で行うのに非常に不安があったので、勉強になった。またデジタル教科書やアルファベットを覚える方法も実践したいと思う。
- ❖ すぐにでも実践できるような内容ばかりでとても勉強になった。子どもたちに還元したい。
- ❖ 英語を指導する上での基本となるものをどうやって指導すればよいのかわかつてない部分が多くあったが、今回の研修で大きく理解が進んだように思う。
- ❖ 授業を見せてみると、イメージがわきやすくなつた。ジングルは早速本校で取り入れたい。
- ❖ 英語でのコミュニケーションがとても取れていた。自分だとつい日本語で説明してしまうことも、子どもたちのつぶやきをよく生かして進めていたのを私も実践に生かしたいと思った。  
文字と音で文字の音を知ることが「読む」ことへの大事な一歩だということを感じた。  
Jingle を2学期から活用していきたい。
- ❖ T1、T2の連携の仕方について、参観できればさらに参考になったと思う。小学校教員がT1としてどう動くべきか教えてもらいたい。ジングルは早速挑戦したいと思う。

- ❖ ①ピクチャーカードを使うにあたって、文字と絵が小さすぎると思う。板書の構成から考えてもう少し大きくしても良いと思った。 ②テレビを使っての授業も良いが、現状、テレビのサイズが教室とマッチしておらず、見づらい子どもが多数いるので、テレビの使用にこだわらず、授業を作ってほしい。
- ❖ 本日の研修の内容をどのように普段の授業に取り入れていくかが重要であると感じた。
- ❖ 子どもたちがだんだんと盛り上がっていくのが見ていてわかった。やはりゲーム（アクティビティ）は子どもにとって楽しいし、覚えやすいものなんだなと感じた。
- ❖ 授業の組み方がわかり、参考になった。

#### 印西市立牧の原小学校（10月3日）

- ❖ Jingle を活用した音の学習やゲーム感覚で取り組めるアルファベット、単語の学習法が参考になった。デモレッスン、今回はUnit の最初で新出単語が中心のような流れだったので、その後のターゲットやセンテンスや会話につながるレッスンも知りたかったなあと思った。
- ❖ 子どもの英語を話す機会が少ないと感じた。ほとんど英語を話していない子どもがいると思う  
発音も大切だと思うが、英語を話せるようになる方法をもう少し具体的に聞きたかった。
- ❖ 初めて会う子どもたちとのデモレッスンは大変だったと思う。カリキュラムに沿った授業、既習学習の確認など、細かいところまで考えられていたと思う。アルファベットの“1階、2階、地下1階”に手拍子をするなどの動きをつけることは来週から早速取り入れてみたいと思う。
- ❖ テキストの使い方を見せてもらうことができ、参考になった。低位の児童にどう支援していくかが今の課題。たくさん発音し、コミュニケーションを取り、今回秋山先生がご指導されていたように児童にたくさん英語のシャワーをかけてあげられるようになりたいと思う。
- ❖ 高学年の先生方に聞くと、内容も多く、指導が大変と言っていた。本日ビデオ撮りしたので、参考にし、指導にあたっていきたいと思う。
- ❖ 「書くこと」「読むこと」の指導がとても役立った。カードやワークシートを用意して取り組んでいこうと思う。
- ❖ アルファベットジャングルについては4年生でも授業のはじめに行い、楽しく発音練習に取り組んでいる。通年とのことだったので、引き続き発音練習していきたいと思う。
- ❖ We Can の扱いがとても難しいと思う。本日のレッスンプランは、指導書のとおりで大変参考になったが、全てをやると、英語に対して不安感を持つ子にはストレスになるのは・・・と感じているのが現状。（特に5・6年生の内容）4年生の授業は具体物が用いられていたので、子どもの意欲につながったのではないかと思う。ALTと一緒に行う際の授業もみせてもれえたら・・・と思った。
- ❖ ゲームの工夫が楽しくわかりやすく教えるコツだと感じた。「しりとり」なども普段から親しんでいるものなので、学級レクの時間などにも活用できると思った。

- ✧ 目標の中に「伝え合おうとする」という言葉がある。「伝える」ではなく「伝え合おうとする」なので、自発的な思いがあったら（生まれたら）いいのではと思う。「このことを友だちに言いたい！」というような場面を仕組むことにより、目標は達成されるのではないかだろうか。今日の授業で「伝えたくてたまらない！」という気持ちに子どもはなれただろうか。または、本時には組み込まれなかっただのでしょうか。私はどの時間にも必要だと思っている。
- ✧ 緊張もあったのだと思うが、とても静かに授業が進む様子が、本校と大きく違っており、ギャップを感じた。アルファベットジングルや Story time の活用の仕方がよくわかった。
- ✧ まだまだ勉強不足な所もあり、子どもたちに英語の授業で迷惑をかけっぱなしになっています。幸いにも ALT の先生がおられるので何とかなっていて、自分も子どもたちの中に入って、手本を示すのが精一杯の状況。今日学んだことを生かして頑張っていきたい。
- ✧ レッスンプランを用いた授業の展開の仕方がわかりやすかった。活動から活動への切り換え方がよくわからなかったのだが、子どもたちを評価し、次の活動へ行く、というやり方がわかったので、実践しようと思った。
- ✧ 子どもたちは担任の先生ではないし、たくさんの人が周囲にいたので緊張しているように見えた。デジタルを使って効果的に授業が行われていたように思う。ペア学習や周囲の人たちとのコミュニケーションが少ないように感じたが、最近の傾向・・・？ 教師が単語をたくさん教え込むように思うが、ペア活動がもう少し入っても良いように感じた。

#### 匝瑳市立豊和小学校（10月10日）

- ✧ 授業の流れ、映像教材の活用法がわかり良かった。
- ✧ 研究協議の中で、アルファベットカードを用いた活動のバリエーションが多く勉強になった。
- ✧ 小学校の子どもたちに外国語指導する難しさを改めて感じた。

#### 香取市立北佐原小学校（10月11日）

- ✧ 私たちが目指すべき授業がわかりました。
- ✧ 短い時間だったが、多くのことが学べた。学校の実態がまだ追いつかないが、合わせて指導していきたい。伝達もしっかりと行いたい。
- ✧ 3文字のしりとり、発音を意識すると楽しくて、とても参考になった。
- ✧ 本校は ALT にすべて任せきりで「児童が理解していない」「難しい」と言ってばかりで、自分たちで何とかしようと思っていない担任が多い。今日教えていただいたことをしっかり伝達し、楽しい授業ができるようにしていきたいと思う。
- ✧ 普段小学校での授業は見られないでとても勉強になった。「楽しい授業」を精一杯実践していきたいと思う。
- ✧ 新しい学習の指導法がよくわかった。
- ✧ 既習の定型文を所々に入れて頂いたことに気付いた。授業でも活用してみます。
- ✧ 特別支援学級在籍の児童も意欲的に学習できたのは支援のおかげです。
- ✧ 子どもたちが楽しそうでした。
- ✧ 様々な指導法について、授業研修を通して学ばせてもらった。実際の学校現場で生かしたい。

- ◆ 児童がわからない単語、表現について、すぐ日本語を教えてしまうのではなく、くりかえし、動作や表情もつけ加えながら理解させていくことがとても勉強になった。
- ◆ わからない単語もすぐ日本語で答えるのではなく英語でヒントを言ったり、うまく子どもたちから引き出したりしていたので、学級でもやってみたいと思った。発音や音によるアルファベット並べなど新しく学べた。
- ◆ 普段の授業で、子どもたちの反応がなかったり、理解していない様子が見えたりすると、すぐに日本語に言い換えてしまっている。我慢強く、繰り返し、わかりやすい言葉に言い換えて、子どもたちと楽しくできるようにしたい。
- ◆ 具体的なご指導があり、とてもわかりやすかった。ビデオを自校研修で活用していきたい。
- ◆ 小学校で教えるべきことについて悩んでいたが、まずは楽しく！ということでそれを心掛けていきたいと思う。
- ◆ 授業で使えそうなアクティビティや子どもたちへの英語を通したかかわりを学ぶことができ、大変参考になった。
- ◆ モデル授業を見ることができ、とても参考になった。5年生の子どもの担任だが、基礎がない状態での We can になってしまっていることを痛感している。児童の実態に合った授業をしていきたいと改めて思った。
- ◆ 英語に関して苦手意識があるが、簡単な単語で話されていてちょっとがんばってみようかな・・・と思った。ゲームをしながら身に付く授業を目指してがんばります。
- ◆ ALL ENGLISH の授業、すばらしかったです。ALT が主導になりがちな授業だが、先生のような授業ができるように頑張りたいと思った。

#### 旭市立干潟小学校（10月12日）

- ◆ ジングル活用の方策、アクティビティ、大変勉強になった。
- ◆ アルファベット、ジングルの重要性が大切なのだということがよく分かった。デジタル教材を使って指導を充実させたいと思う。
- ◆ ジェスチャーが効果的に使われていて、驚きました。
- ◆ 3・5年生ともに子どもたちが生き生きと楽しそうに授業に臨んでいて刺激を受けた。読み・書きの指導は、ただ教え込むのではなく、気付かせながら行うことが大切とわかった。
- ◆ 大変勉強になった。「音読み」これまで触れる機会がなかった。取り入れていきたい。
- ◆ アルファベットジングルがマンネリになりがちだったので活用してみたいなと思った。
- ◆ 小学校でどのような授業を展開しているのか、非常に興味深かったのでとても勉強になった。
- ◆ T1 と連携しながら授業を進めていたのが良かった。
- ◆ 大変勉強になった。学校で発音などの練習時に活用していきたいと思う。
- ◆ 慣れる、親しむことで、英語が持つ良さを子どもたちが感じ、英語に対する意欲が続くのではないかと思った。

◆ モデル授業①

日頃の授業に近いものを見せてもらえたので、今後の授業に取り入れられる部分は取り入れていきたい。しかし、pair work→individual work の順を入れ替えた方がいいと思った。というのも pair work にあたり、しっかり慣れ親しんでいない児童とそうでない児童が pair になっていたので、事前にもう少し自信を持たせてから、活動に入った方がよいのではないかと思った。”B” - “V”, ”M” - “N”, ”G” - “Z” の区別も指導者の口元に注目しながら、もう少し違いを示してもよいのではないかと感じた。

モデル授業②

発表用の授業を見せてもらい、本日までにたくさん準備してきたことが分かった。ただ、まとめの段階で、発表のポイントがぶれていたように感じた。プレゼンテーションポイント (Loud voice/ gesture/ eye-contact) に重視しているのか、unit の目標である”can” - “can’t” を重視しているかを最後の 3 分間で振り返ってもよかったです？と思った。

### 八街市立交進小学校 (10月16日)

- ◆ 来月、授業研をする私にとってとても学ぶ事ができた。是非、活用させていただきます。
- ◆ ローマ字の発音も学習しているので、慣れるまで発音の練習に力を入れていくべきだと感じた。
- ◆ ICT の活用の仕方がよくわかった。
- ◆ 先生の発音がとてもきれいだなあと感じた。
- ◆ 児童一人一人とコミュニケーションを取っておられて、勉強になった。
- ◆ the や my のカードを作り、貼りながら発音していく点が今後特に参考にしていきたい。
- ◆ アルファベットシートはとても有効な手段だと思った。子どもたちが英語に親しむための様々な手立てを知ることができてよかったです。
- ◆ とても丁寧な授業だった。デジタル教材の使い方もとても勉強になった。ALTとのTTの授業も見てみたいと思った。
- ◆ 様々な教具を実際に活用にしての研修でとてもわかりやすかった。
- ◆ 研修の内容を授業で行ってほしかった。
- ◆ 「読むこと」については、自分の受け持っている学年にどう落とし込むのか、「書くこと」については、高学年になり、I can など文を書く際に、どのようなかたまりで落とし込むのか、少し考えていきたい。
- ◆ モデル授業の展開を実際に見る事ができてよかったです。また、活動の中で、いくつか今後に活用できるのがあったので、活用していきたい。
- ◆ 英語の教科化に向けてテキストや映像教材の活用方法など勉強になった。今はALTの先生がメインで話すことが多いので、自分の授業を行ったとき、どのようにすればより楽しく効果的に学習できるか考えるよい機会となった。
- ◆ 本校と進め方が少し違うが、どのような授業か、1つずつ確認しながら参観させてもらった。質問など丁寧に答えて頂いたので、とてもわかりやすかった。まだクラスによってはALTに任せてしまう場が多いので、少しでも自分たちができるようにしていきたい。
- ◆ アルファベットシートやしりとりなど、すぐに現場でできそうなことを教えて頂き非常に勉強になった。

- ❖ 今の ALT とコミュニケーションを十分取り、指導のずれがないようにしていきたいと思った。
- ❖ 成長の度合いによってボランティアが出てこなくなるが、6 年なら自分の行ったところをボランティアではなく、全員に言わせてみたらと思う。
- ❖ 児童の活動が少なかった。
- ❖ こどもがやりたい！ 楽しい！ と感じるような仕掛けをたくさん教えていただいて、子どもに還元していきたいと思った。
- ❖ ○高学年の授業は内容も子どもたちの反応の少なさも含め、難しいと感じた。 ○最初の文字を考えさえる「～in」などは、教員もそれなりに正しい発音をしなければならないと思った。
- ALT が We can を初めて使ったとき、急にストーリーの所を読み始め、子どもがパニックになってしまった。

#### 四街道市立四街道小学校 (11月16日)

- ❖ 初対面かつ研究授業であったため、児童の反応が難しかったのだと感じた。授業は大変参考になり、持ち帰って今後生かしたい。
- ❖ 書く指導上の視点が分かったので、大変参考になった。校内で伝達し指導の向上に活かしたい。
- ❖ [Let's try!] [We can!] の映像教材（活用法）を使用しながらの指導法がよくわかった。
- ❖ 教科書に関連する内容を教えていただいたので、活用したいと思う。
- ❖ 子どもたちにかかわりをもつことを大切にしていらっしゃるところなど、大変勉強になった。また「読むこと」「書くこと」の指導法についても取り入れていけたらと思った。
- ❖ 1 時間のレッスンの中で児童の発話量をいかに確保していくか、アクティビティの中で何をおさせるためのゲームをするのかをしっかりさせておくことの重要性を再認識した。4 線を意識させるために、発話する時の体の動かし方も大変参考になった。フォニックスを応用し、しりとり等でも活用していきたいと思う。
- ❖ 特例校で別教材だが、ゲーム等活用できるものを取り入れられるように伝達したい。
- ❖ ○ALT を予算のつく限り活用したい。 ○発話（児童の英語）活動がもっとほしい。 ○ クラスルームイングリッシュをもっと用いたい。日本語の説明が多かった→ジェスチャー やデモで推測させたい。
- ❖ 今まで担任主体のほぼ英語が主流だと思っていたので、今日のは、少し違和感があった。今日のような感じなら、外国人 ALT の方が楽しいと思うし、身に付くと思う。私自身、ALT や外部講師中心の方が良いと思うが、今日みたいな感じなら、既にどの学校もやっていると思う。児童が発音する機会が少ない。
- ❖ このような研修を伝達研修だけでなく、全職員に何年かで研修すると良いと思った。

#### 香取郡多古町立常盤小学校 (11月14日)

- ❖ 教材=効果的資料の提示がすばらしいです。
- ❖ 3 年生の学習で、城井先生が「自分の身近にあるアルファベットを探してみて」というと、子どもたちが楽しそうに T シャツや筆箱などのアルファベットを見つけているのが印象的だった。英語を使う機会は普段あまり多くないように感じている子どもにとっても身近に感じられるよい機会、活動になったと思った。

- ◆ 読むこと、書くことについて、今まであまりイメージを浮かべることができなかつたので、早速明日からの実践につなげていきたいと思う。
- ◆ 英語がふつうに使われていて、子どもたちも慣れていてあつという間の楽しい英語の時間だった。苦手意識をなくせるように私自身がまず努力しなければと思った。
- ◆ 3年生の担任だが、子どもたちが意欲的に活動し、しっかりと発音を聞き取りながら声を出していてすごいなと感じた。授業の中で、活動内容にメリハリがあり、子どもたちが最後まで飽きずに取り組める工夫がなされていた。ただ、3年生が先生の発音を聞いてアルファベットを指す活動では、正しいアルファベットを指せない子どもがいたので、知識として覚えるべきものを授業内でどのように教えていくべきなのか、難しさを感じた。
- ◆ 学級の実態として、文字を書く・発音することに苦手意識がある子が非常に多くいる。嫌いにならないようにすることが難しい。
- ◆ in, by, on, under 等、3年生のアルファベットの学習からいっきに難しくなった気がする。小→中へ行った時に、小学校の外国語科の学習が本当に活きているのかどうか、中学校からの本音を聞きたい。(また、小学校の学習を中学校で活かそうとしているのかどうか?)

#### 白井市立白井第三小学校 (11月27日)

- ◆ 音→文字への移行は、言語学習でとても大きな壁だと思う。指導法の工夫によって、理屈としてではなく、自然と入っていくことができるのだとよくわかった。リスニングなどで、中・高生の学習で自分自身苦労したことを思い出した。
- ◆ 本日の授業で外国語活動の展開の流れとポイントがとてもわからることができた。
- ◆ ALL Englishでの授業、大変勉強になった。
- ◆ 夏休み前から、毎時間 Greeting の後に、ジングルをやり始めた。約 3 か月取組みずいぶん音に慣れてきたので、今日教えていただいた文字を「書く」「聞く」活動も取り入れていきたい。

#### 印旛郡栄町立安食小学校 (12月13日)

- ◆ これから外国語活動、外国語科が本格的に始まる中で、大変有意義な研修の構成・内容だった。本校にて伝達し、子どもたちのために「生きた」授業を展開できるよう努めていきたい。
- ◆ 英語の時間は、ALT の先生が中心となり、児童がわからない時、日本語で声をかけたり、個別に援助したりしている。横尾先生が英語で授業されていて驚いた。自分自身の英語力では ALT の言葉も 100% 理解できていないので、教師自身の英語力が必要と感じている。1 時間の授業は長いかと思っていたが、飽きずに楽しそうにしていたので、とても勉強になった。今後の授業の参考にしていきたい。
- ◆ ALT と日本語教師のやりとりの流れがよくわかった。文字指導については、難しいと思った。また、日本語を使わずに (できるだけ) 何を言っているか分からせるのも難しいと思った。また、文科省の指導案も盛りだくさんな部分もあると感じた。
- ◆ 子どもの反応がいろいろだが、楽しく取り組ませてあげたいと思った。
- ◆ 英語が苦手な私もわかりやすかった。頑張って指導していきます。
- ◆ これまでフォニックスを取り入れていなかったので、これからはぜひ！！と思った。
- ◆ 本日教えていただいたことを基に目と耳で、楽しく学ばせてていきたいと思う。

- ◆ Jingle をイメージさせることの大切さを知った。子どもたちと楽しく外国語活動ができるよう、今後、努力していきたいと思う。
  - ◆ 子どもが多少元気があっても、的確な指示で、スムーズに授業が進むのが大変勉強になった。
  - ◆ 授業中、横尾先生が表情豊かにたくさんほめていらっしゃるのが印象的で、自分にはできていないことなので、反省しました。
  - ◆ 指導法の事例、とても参考になった。
  - ◆ 大変勉強になった。特に「読むこと」の指導方法を具体的に教えていただき参考になった。
  - ◆ フォニックスの重要性がわかった。まずは自分がフォニックスをしっかり学びたいと思った。
  - ◆ とても楽しく子どもたちが生き生きと参加していてとてもよかったです。5年生はできているのに自信がないのかと思う時があった。4年生はとても元気があり、ピンゴであれほど盛り上がるとは思わなかった。
  - ◆ 今日は活動的な楽しい授業を見させていただきました。4年生はとてものりが良く、5年生はシャイでやりにくかったと思うが、子どもたちのレベルに合わせたやり取りが勉強になった。
- 復習で「f や g」などのアルファベットの書き方の指導にもっと力を入れようと思った。ジングルとフォニックスの違いは？同じなのかな？と疑問が残った。
- ◆ たくさんヒントをいただきました。
  - ◆ しりとりのような目的を焦点化した単語選びが必要なのだと感じた。それには教師が知っていないといけないので、難しいなと思う。クラスルームイングリッシュ（簡単なものでOK）を身に着けたいと思う。実際にそのような研修もあるとうれしい。
  - ◆ Small Talk からの導入が流れるようにとても自然で、勉強になった。今後の実践に生かしたい。

### 成田市立三里塚小学校（12月3日）

- ◆ テキストに沿った授業でとてもわかりやすかった。この授業なら自分にもできそうな気がした。
- ◆ 成田市年計を比べると、リスニングやライティングが多いのかなと思う。スピーキング量が気になった。机と椅子があることで落ち着いて授業ができると感じた。読むことの指導法については、中1の Spring Board を行うことなので、小学校のうちに指導できると子どもたちにとっても良いと思った。
- ◆ 活動ごとに分けられていてわかりやすかった。発音の仕方、違い、キーワードカルタなど取り入れようと思った。
- ◆ Let's Try や We can を使っての指導法が分かった。今後、学校で本日学んだことを他の教員に伝達していきたいと思う。
- ◆ 発音と書き方のつなげ方を指導する際の留意点がよくわかった。1階、2階、地下、すぐに活用したい。

- ❖ 成田市は独自のカリキュラムで英語の授業を行っているため、今回のような授業に子どもたちが戸惑っているように感じられた。「Let's Try!」「We can!」を使っての授業がどのようなものか知る機会としてはとても有意義だったが、ふだんの成田の英語の授業の良さを再認識したというのが本音です。
- ❖ 6年生のP51のワクに書けなかった子がいた。答えあわせもサラッと流れてしまい、書けなかった子が消化不良のままで45分が過ぎてしまった点が少し気になった。
- ❖ 教材があって便利だけど、事前によく内容（どう動くかなど）をよく理解しておかないと十分に授業でいかせない。「すぐに教室でPC起動できる環境」が学校側に整っていたらとても便利。研修のお話し、とても勉強になった。
- ❖ アルファベットの読み書きについての大切なポイントを教えてもらい、とても参考になった。
- ❖ デジタル教材は分かりやすい内容だったと思う。（発音も真似したり、聞いたりできてよいと思った。参考になった。）ただ、教室（人数）によってはややイラストが小さい気もした。イラストをもう少しアップやクローズアップできるとよいのかな・・・。と思った。デジタル教材と黒板のイラストが同じだと、よりわかりやすいと思う。黒板のイラストを取り上げて見せながらの発音も、何のことをやっているのか、わかりやすい子もいたのではないかと思った。
- ❖ 小学校の授業を見せてもらうのはとても貴重な機会なので、とても良かった。
- ❖ とてもわかりやすい授業でした。
- ❖ “Let's Try!” “We Can!”を使用した授業展開を実際に参観できたことは非常に良かった。All Englishの中でも、時に日本語で解説が入り、指示がよく聞けていたよう思う。まだ英語を話すということに抵抗がある子どもたちだが、本日の講義で教えてもらった発音を教え、音遊びをしていきたいと思った。“Let's Try!” “We Can!”を使うと知っていたら、持参したかった。
- ❖ 教師から児童、児童から教師のやり取りは見られたが、児童同士のやりとりがもっと見られるような授業だともっと楽しくやれたかなと思った。今回の研修を通して、Jingleの大切さがよく分かった。これからは英語の発音もしっかりやりつつ、授業を進めていきたい。
- ❖ 成田市で勤務していると、ALTがいて当たり前の環境に慣れてしまっているので、市外に出た際などに、一人だとこのように授業を進めていいのかとわかった。また「書く」「読む」という領域では、どのような指導が効果的なのか、とても勉強になった。

# 平成 30 年度千葉県教員研修資質向上研修アンケートコメント抜粋 (東上総)

インタラック関東北 千葉支店

- ◆ 茂原市立緑ヶ丘小学校 (7月11日)
  - ◆ ほぼ All English のわかりやすい例で、とても参考になった。
  - ◆ 小学校の発達段階に応じて音やスペルを覚えさせる方法がわかった。
  - ◆ 「読むこと」「書くこと」の効果的な指導法が大変参考になった。
  - ◆ ○どちらも Unit の第 1 時だったが、内容が盛りだくさんな気がした。 ○児童の受動的な活動が多く、ペアやグループワーク+もっとたくさん発話する場面があつてもよかったです。○学習のめあてがよくわからず、子どもたちの振り返りにつながっていなかったように思う。
  - ◆ 子どもが 45 分間でどれだけ英語を聞き、どれだけ発話したかを考えると、活動内容がそぐわないように感じた。始終受動的活動、主体性は? 当日 HRT 役を務めた方ももう少し英語を理解させる手立てを講じないと小学生には理解できないと思う。
  - ◆ 初めての外国語活動なので、指導法などがとても新鮮で実際に実践してみたいと思う。
  - ◆ 文字の名前と音の違いがよくわかった。
  - ◆ ほぼ英語のみの授業で、子どもたちはどの程度理解できていたのか? と思った。全員でなくとも、少数でも理解している子がいれば、All English でやる意味はあるのかな? とも感じた。
  - ◆ 発音に自信をつけないと無理かもしれない。資質向上が求められる。カードなどの物の準備に時間がかかる。
  - ◆ 中学校 1 年生の担任。音→文字につなげていく指導が大切だし、時間がかかる。アルファベットの音読みは別のものでやっていたが、来年からは Jingle を使うことで子どももなじみがあってよいので、使おうと思う。
  - ◆ ツール BOX の中にどのような物があり、どう授業につながるのか、取りまとめたものがほしい。
  - ◆ 発音とアルファベットを結びつけるのが難しい。

## 東金市立丘山小学校 (7月13日)

- ◆ 楽しい授業展開をありがとうございました。先生のノリノリのテンションに子どもたちもひきつけられていた。外国語は楽しく学ばなければと思う。テンションあげてがんばります。指導法については、大変参考になった。休み中にアルファベットシートなどを作成し、しっかりと Jingle を学ばせたいと思う。
- ◆ 先生の表情が豊かで子どもたちをよく惹きつけていたと思った。授業もとても分かりやすかった。ジェスチャー&アクションつきで、子どもたちが楽しそうだった。ただ、レベルが高く感じ、すべての子どもが理解しているかは知りたいと思った。とても勉強になった。
- ◆ 「読む」「書く」を中心に教えてもらえてよかったです。
- ◆ これから文字指導を行っていくことになるので、本日の研修内容は非常にありがたいものだった。5・6 年の担任も指導方法に苦労しているところがあるので伝達していきたい。
- ◆ とても参考になった。学校で取り入れていきたい。

- ◆ 教材についての指導方法について協議の時間がもっとほしかった。色々な視点から子どもに何を身につけさせるかが大切だと思った。
- ◆ 子どもたちが楽しそうに取り組んでいた。たくさんの先生方が岩崎先生に少しでも近づけると良いと思う。
- ◆ 研修を受け、日常の活動の中で外国語を取り入れることもできるのだと気付くことができた。今後の活動に活かしていきたい。
- ◆ 授業でできそうなミニゲームや言葉かけなど、1つ1つとても勉強になった。日常実践で取り入れ、児童が英語を楽しみ、親しみをもってもらえるよう、これからも授業に取り組んでいきたい。
- ◆ 今後の外国語活動の中で、英語をたくさん使いながら指導を行っていきたい。
- ◆ 5年生の授業を参観。児童の発表に対してのほめ言葉などとても勉強になった。また、デジタル教材の使い方などとても効果的だと感じた。
- ◆ 3年生の授業を参観。ほめ方、授業の進め方などとても勉強になった。
- ◆ All English を目指して、自分も Try したいと感じた授業だった。とても勉強になった。
- ◆ 先生の豊かな表情、ジェスチャー、ほめ言葉によって、子どもたちはどんどん活動に夢中になっていったように思う。貴重な学びの場をありがとうございました。
- ◆ 5年生の”Let’s Listen”のところで3つある動画を初めに2つ見せて、最後に1つ見せるのが、子どもにとって Step を踏んでいて良かったと思う。また、3・5年生が始終座ったままの活動だったが、45分座りっぱなしなのは飽きてしまう子どももいるかなと思った。
- ◆ 新しい教科書を進める上で悩んでいる問題を少し解決できた。All English の授業も大変参考になった。
- ◆ 教えていただいたことを参考に、今後、指導していきたいと思う。

#### 夷隅郡大多喜町立大多喜小学校（9月28日）

- ◆ グッバイ Song 等、明日からすぐにでも活用していきたい内容だった。ジェスチャー付きのゲームなどすぐにでも行ってみたい。
- ◆ その日の振り返りが今日、初めて知ったこと、気がついたことだったので、アクティブ・ラーニングにつながるなと思った。（何ができるようになったか、自分で自覚することが大事だと言われているので）授業でやってみたい活動がたくさんあった。
- ◆ 「Let’s Try!」「We can!」の教材についての理解を深めることができた。新学習指導要領の移行期にあたり、学習の積み重ねが大切であると感じた。
- ◆ 研修では授業で使えそうなものを紹介していただき、とても勉強になった。今後いかしていきたい。
- ◆ 楽しく学ぶ工夫があり、活用したいと思う。カード・発音・書くことの流れが子どもたちは分かりやすいと思った。
- ◆ ○グッバイソングは帰りの会等にも、すぐに取り入れられるものだと思った。 ○ふだんから英語に接する環境を充実させていくことが、子どもたちの興味・関心を引き出すことになると感じる。 ○楽しく学べる工夫をしながら、楽しい授業に取り組みたいと思う。
- ◆ 英語の授業には不安が多く、今回の授業で参考になるところがたくさんあった。2年生は、活用できるところは、活用していきたい。

- ◆ とてもわかりやすい授業でした。講師の方がとても上手に進めておられていいなと思った。勉強にもなった。ただ、子どもたちがどこまで理解しているのか？ また、はすかしさからか、反応が見られないように感じた。「よく聞いて発音する（発する）」ということが1人1人できていないために、発することができない子がいる。自分のクラスには理解が大変な子ほど声が出ない。（こちらが近くで確かめても声がなかなか出ないのでむずかしい）できたかどうかの挙手は、人を見ながらやっている子もいるので、学習内容がどんどん難しくなり、厳しい。指導者もついていけない。
- ◆ 4線の使い方（1F、2F、地下）のお話は、3年で学習するローマ字にも活用できるため、とても勉強になった。秋山先生のように、教師自身が楽しんで授業することが大切なのだとと思った。
- ◆ 笑顔でのご指導が印象的でした。ありがとうございました。
- ◆ 外国語の授業の進め方がわかりやすくてよかったです。児童からの発言を引き出す方法がたくさんあって、勉強になった。
- ◆ 「last and first」は子どもも意欲的に取り組むと思うので、やってみたいと思った。
- ◆ 担任一人で授業をする時のやり方、流れが何となくつかめた。子どもたちが教師の言っていることをすぐに理解しなくとも、類推させることができたんだと感じた。授業に活かしたい。
- ◆ 先生の発音の美しさに感心させられた。順序立てて指導して頂き、とても分かりやすかった。
- ◆ 様々な活動を教えて頂いたので、明日からの指導に生かしていきたいと思う。また3年生は今、ローマ字をやっているのでしっかり教えていきたい。

#### **山武郡横芝光町立上堺小学校（10月30日）**

- ◆ とてもわかりやすく、今後の指導に生かせると思った。
- ◆ これから授業の感じが少しわかった。

#### **山武市立鳴浜小学校（11月1日）**

- ◆ とても勉強になった。児童がわかりやすいように日本語と英語をうまく織り交ぜながらやられていて、素晴らしいだった。
- ◆ 授業のテンポ、児童の発言後のほめ言葉のバリエーション等とても勉強になった。気軽な質問によって、はじめは緊張気味だった子どもたちが楽しんで発言できるようになっていく様子が目に見えて分かった。

#### **長生郡白子町立南白亀小学校（11月1日）**

- ◆ 今後の授業にすぐに役立てられる内容で、大変よい研修となった。
- ◆ 授業のテンポがよく、どんどん活動が進んでいたので、真似したい。ALTが主導していくことが多いが、Jingleなどもう少し取り入れてもらおうと思う。

### 山武郡横芝光町立横芝小学校（11月5日）

- ◆ 子どもたちが先生の話される英語をよく聞いているという印象を受けた。英語が教科となることで、「話せないままでは」「話せるようにしないと」と先を急ぎたくなるが、自然と声となって出るようになるまで、やはり聞かせることが大事なのではないかと思った。今回の研修を今後の活動（学習）に活かしていきたいと思う。
- ◆ 授業での英語の量や児童が英語を使おうとする姿勢など、参観させていただき学ぶことが数多くあった。研修についても実践的な内容で明日にでもできる内容だった。
- ◆ 中学校で働く身としては、小学校で使ったカードや内容を ALT がそのまま中学校で使ってくれると生徒の理解にも役立つのではないかと思う。そのような小中連携ができるといいと思う。
- ◆ 普段、外国語の研修、外国語の授業を参観する機会がなかったので、今回はとても勉強になった。外国語のイメージがはっきりして、自分でもこれから試していきたい意欲がわいた。
- ◆ 専門の方が英語の授業を展開されるのを初めて拝見した。予定になかったbingoや I can ～の発表などを取り入れる場面があり、活動が盛りだくさんで、子どもたちがとても楽しんでいることが分かった。Classroom English は使いこなせない自分だが、これから英語の授業を行うために、もっと学習していかなければならぬと感じた。
- ◆ ジェスチャーと結びつけながら、コミュニケーションを取るようにすると、子どもたちにも取り組みやすいのだと気づくことができた。読み・書きに関する指導も、ぜひ実演していただきたいと思った。
- ◆ 英語は、やってみるということがまず大切であると実感した。子どもたちが楽しいと思う活動をしていきたいと思う。
- ◆ 英語は苦手だが、子どもたちと一緒に楽しくがんばっていこうと思う。
- ◆ デモレッスンを参観して、クラスルームイングリッシュの大切さをあらためて感じた。

### 大網白里市立大網東小学校（11月21日）

- ◆ 今後の授業の参考にさせていただきます。ありがとうございました。
- ◆ 参考になりました。外国語の担当をする時に、実践したいと思う。
- ◆ 単語カードをしりとりのように並べるゲームやアルファベットを順番に合わせてカードを置く活動が参考になった。
- ◆ 今後の外国語の授業のヒントになった。自校に持ち帰ってしっかり伝達したいと思う。
- ◆ 先生方が自信をもつようになるために、日々研修していきたい。
- ◆ 今後の活動に取り入れようと思う。
- ◆ 少しでも学校で今回学習したことを還元していきたいと思う。
- ◆ 学級で活用したいと思う。児童が英文に慣れ親しめるような活動も知りたい。

### 長生郡長南町長南小学校（11月20日）

- ◆ 目的が英語の学びなのか？ 授業の進行にあるのか？ よくわからなかった。
- ◆ わかりやすかったです。ありがとうございました。
- ◆ 発音は低学年からの学習がよいということがわかったので、今後、頑張ってみたいと思う。

- ❖ 普段からデジタル教科書を使っているが、知らない道具箱等もあったので是非使ってみたい。
- ❖ 何よりも担任が楽しんでいる事が大切であり、ゲームを使ってアルファベットを覚えることも楽しんでできそうです。今日の授業もていねいで、わかりやすく大変勉強になった。
- ❖ 発音に気をつけながら授業が進められていたので、感心した。本日の参観を参考にし、今後、活用できるところを取り入れ実践したいと思う。

#### いすみ市立東小学校（12月4日）

- ❖ 講師の先生の英語表現が子どもにとって簡単なもので、わかりやすかった。また資料や映像の有効活用が多くみられた。
- ❖ 6年生でもアルファベットの発音や3文字しりとりなど楽しめそうだと思った。是非活用したいと思う。「S」など授業にあった教具の必要性を感じた。楽しい授業づくりに役立った。デジタル教材の活用の仕方を学校の職員に伝えていきたい。
- ❖ Jingleで子どもたちのアルファベットが親しみやすくなると思った。
- ❖ 5年生の担任。なかなか苦手意識があり、ALTの先生の補助にしかまわっていない状況。しかし、子どもたちは非常に楽しみにしており、もっともっと自分自身も頑張らなければと思う。いろいろ使えるコンテンツを教えていただき、ありがとうございました。
- ❖ アルファベットシートは、特にすぐに作れて使えるものだったので、とても勉強になった。今まで外国語に対して、抵抗を持っていたので、今回のこととを期に勉強していきたいと思う。
- ❖ 教材の使い方、「Let's Try!」「We Can!」の中にある教材を知ることができて、良かった。
- ❖ 素晴らしい授業や指導等をありがとうございました。
- ❖ ジングルの使い方がよくわかった。

#### 勝浦市立勝浦小学校（12月4日）

- ❖ 外国語の授業の流し方がよくわかった。秋山先生のお話からも、大切にすべきことが、分かりやすかった。
- ❖ 中学校教員です。文字指導、とても大切と感じます。まちがえて覚えたり、変なくせがついたりすると、中学で直すのが大変です。
- ❖ アルファベットの指導について、様々な活動を教えていただき、参考になった。次回からの授業に取り入れていきたいと思う。
- ❖ 私は1年担任。1年生でも少し英語にふれることができるかと思った。またこのような機会を設けてもらえた嬉しい。
- ❖ アルファベットの書き取りの練習の仕方が細かく分かったので、今後、活用していきたい。
- ❖ 具体的な指導をみせていただき、大変参考になった。子どもたちがたくさん英語を話すことができる授業展開をしていて、子どもたち自身も英語のセンテンスによく慣れ親しんでいた。
- ❖ 効果的な指導法では、授業で使える内容を教えていただき、ありがとうございました。今後の指導に生かしていきたい。

- ◆ ALT と授業打ち合わせの時間の確保が難しい。Jingle をやるときのフォニックスの音は指導者側もできることが理想だと思うが、自分の音が正しいかどうかわからないのですが、何か良い方法はありますか？

### 山武郡横芝光町日吉小学校（12月4日）

- ◆ 子どもへの指示の仕方や授業の進め方、方法など勉強になりました。今後の実施に生かしていきたいと思います。
- ◆ 私はアルファベットの文字の指導が分かりやすく、とても勉強になりました。児童も大きく、しっかりと書くことができていたので、指導をする際には、活かしたいと思う。
- ◆ 子どもたちが生き生きと学習に取り組んでいました。ありがとうございました。
- ◆ T1、T2の役割分担で、理想的なものがあれば教えていただきたいです。
- ◆ とても勉強になりました。進め方、やり方を参考にして、教材研究をしてやっていきたいと思います。
- ◆ 外国語の授業ではあまり英語を使おうとしていなかったか、今日の授業では自分から英語を使っていてとても良い変化が見られた。

### 長生郡睦沢町立睦沢小学校（12月6日）

- ◆ 一つ一つの英語での声掛けが印象に残り、是非活用したいと思った。
- ◆ 書く活動の大切さが学ぶことができた。積極的に取り入れていきたいと思う。
- ◆ 書く活動について、どのように取り組めば良いのかがよくわかった。しりとりも試したい。
- ◆ 子どもの様子に合わせて分かりやすい指示を出され、安心した雰囲気での学習でたくさん学ばせてもらいました。ありがとうございました。
- ◆ 3レターワードの絵カードをみんなが使えるように、何かのサイトで検索したり、テキストに入っていたりするといいと思う。活用したいなと思った。
- ◆ 先生の明るくて歯切れのよい授業は素晴らしい、私も児童の一人となって参加した。ポイントを押さえてわかりやすかった。
- ◆ ALTとの話し合いをしっかりともち、HRTとしてしっかり学習していきたいと思う。わかりやすいコメントで学習できた。
- ◆ 普段、国語や算数ではなかなか活躍しにくい児童がたくさん発言していた。子どもたちはみんな楽しかったようだ。ありがとうございました。
- ◆ 言語担当で英語の授業をすることはないが、通級している児童に活かせる内容が多くあった。
- ◆ 積極的に相手を探し、コミュニケーションを取らないと勝てないゲーム。ただ繰り返すだけではなく、方法を変えて繰り返す。など、とても素晴らしい指導方法、授業を見せて頂きました。
- ◆ 私でも授業ができそう！と前向きな気持ちになれた。授業者としての意欲だけではなく、英語を学ぶ側としての意欲も刺激されたと感じている。ありがとうございました。
- ◆ 英語講師としての初年度の年で、新教材や小学生の理解度などに戸惑いがあったので、絵本・音・サイトリーディングなど大変ためになった。是非、活用させていただきたいと思う。

# 平成 30 年度千葉県教員研修資質向上研修アンケートコメント抜粋 (南房総)

インタラック関東北 千葉支店

## 館山市立房南小学校 (7月11日)

- ◆ とても勉強になりました。
- ◆ 研修がとてもわかりやすかったです。
- ◆ ICT 活用等、わかりやすかったです。ありがとうございました！！
- ◆ 3年生の子どもがずっと「わからないわからない」と言っていたが、その子はわかる子で手もあげて発表していた。3年生なのに反応があまりないのは、分からない子が多いのかと思った。今年度の教科書になり、難しさを感じる。
- ◆ デジタル黒板のまだまだ活用していない部分がわかった。

## 市原市立清水谷小学校 (7月18日)

- ◆ 5年生の授業で can と can't の違い、発音が似ているので、子どもたちは聞き取りにくかったのではないか。
- ◆ とてもわかりやすく勉強になりました。ぜひ挑戦してみたいと思う。
- ◆ 本日はありがとうございました。低学年からも、少しずつ慣れ親しめるようにしたい。
- ◆ 暑いなか、本当にありがとうございました。大変参考になった。
- ◆ 具体的なゲームやアクティビティを教えていただき、大変勉強になった。
- ◆ 今後の外国語指導に生かせる内容がたくさんありました。
- ◆ 教科書をしっかりと使用した授業で、自分もやってみたい内容だった。中学年でもそうだったが、あのくらいゆっくりで説明や英語を話してみないと、子どもたちが理解できないと感じた。勉強になった。
- ◆ 暑い中、2時間授業を見せて下さり、ありがとうございました。耳が慣れるまで、教師も子どもも時間がかかりそうですが・・・。訓練ですね。
- ◆ 今日は授業をしていただきありがとうございます。フォニクスは小さいうちからやらなければいけない。
- ◆ 発音が難しいと感じます。耳ができずに年だけ重ねてしまっているのでしょうか。

## 市原市立光風台小学校 (9月5日)

- ◆ 授業の流し方など、大変勉強になった。
- ◆ 自分はなかなかうまく進められないので、とても参考になった。自分が自信がない授業をやっていると、子どもも楽しくできないと思うので、間違いをおそれず楽しい授業になるように頑張りたいと思う。
- ◆ いろいろな活動を教えてもらい、大変有意義だった。3年生はローマ字指導も入ってくるので、どのようにしたらいいのか、どのように気をつけたらいいか、考えながらやっていかなければならないと思った。
- ◆ ゲーム等やってみたいと思う。
- ◆ ゲームなどをしている時は楽しそうだが、「学習」となると飽きてしまう子がいて悩む。今は教えて頂いたことを取り入れて興味を持たせたいと思う。
- ◆ Alphabets Jingle にさっそく取り組んでみようと思う。
- ◆ 文字単体の音を勉強するための活動例がとても参考になった。

- ◆ 多くのことを学ぶことができた。積極的に取り入れていきたいと思う。
- ◆ 協議では演習を入れていただき、実感を持って学べた。
- ◆ 6年生担任として、中学校につながるように、本日教えていただいたことを生かして進めていきたいと思う。
- ◆ これからUnit5をやるので、役立てると思う。
- ◆ 主教科、副教科、道徳の教科化などに合わせて、外国語の実施が位置づけられ、授業準備に時間が取れない日々が続いている。アクティビティをたくさん知ることは、時間がない中でも子どもたちを楽しませることができると思う。
- ◆ 学校へ帰り、他の教員に伝えたいと思う。
- ◆ 様々な活動を教えて頂いた。自分の学級でWe Can!リスニングをしてもほとんどの児童が聞き取れないので、音を覚えられるような活動を取り入れていきたいと思う。
- ◆ 今年度はなかなか生かす場面がなさそうだが、必要な時に使えるようにしていきたいと思う。
- ◆ 少人数指導で英語を担当する機会はないが、興味深かった。
- ◆ 今日はとても有意義な時間になった。ありがとうございました。
- ◆ 「読む」「書く」も重視する具体的な授業のパターンを示していただき、参考になった。
- ◆ テレビ2台の使用は、ふだんなかなかできないので、活用をもっと学んで子どもに生かしたい。
- ◆ デジタル教材の良さを改めて感じた。
- ◆ デモレッスンは座学時間が少し長かったように思う。もう少し、児童が活発にコミュニケーション活動をするActivityがあっても良かったと思う。
- ◆ 実践例があり、わかりやすかった。

#### 南房総市立富浦小学校（10月11日）

- ◆ 中学校で勤務しているが小学校でかなり英語に触れてくるということを実感した。生徒にとり、ただの復習、繰り返しになるのではなく、ステップアップできるよう授業を考えたいと思う。
- ◆ とても楽しい授業でした。ありがとうございました。
- ◆ 今日の授業はテンポよく、リズミカルに行われていた。子どもたちものついて、よかったですなどと思った。是非、実践してみたいと思った。
- ◆ 今日は授業の展開、ありがとうございました。2つの授業とも興味深く、子どもたちも意欲的に活動していた。いつもの授業はもう少しテンポが早いので、ゆったり落ち着いて授業を受けていた。ありがとうございました。
- ◆ 子どもたちが活発に発言している姿をみることができた。様々なアクティビティがあり、学校に持ち帰り、実践したいと思う。
- ◆ デジタル教科書の効果的な活用方法がわかってよかったです。
- ◆ 授業の後、児童が「楽しかった！」と言っていました。私も一緒に授業を受けている気持ちになり、楽しかった。チャンツのリズムやできた時のお互いのほめ方、教具を出す際の工夫、とても勉強になった。ありがとうございました。
- ◆ 45分の展開がスムーズでおもしろかった。
- ◆ はじめは少し子どもたちには難しいかと感じたが、繰り返し発音することで、慣れ、最後には自分で言うことができていた。

- ◆ デジタル教材がたいへん効果的だとわかった。音楽や、アルファベット・ジングルも使いたいと思った。
- ◆ 6年生のモデル授業を参観した。リズムよく指導されていたので、子どもたちも楽しそうに学習していたと思う。
- ◆ とてもわかりやすく教えていただき、ありがとうございました。
- ◆ ゲーム形式にしてやることで、子どもが楽しみながら意欲的に学習に参加できると感じた。デジタル教材と併せ、ゲームの要素をもった内容ができるよう単元を工夫したい。

### 富津市立青堀小学校（10月11日）

- ◆ それぞれ違う雰囲気の中での授業だったが、臨機応変に対応していて、素晴らしいと思った。ほとんど日本語を使わずに英語でコミュニケーションをとることも勉強になった。アルファベットの提示の仕方、教材の工夫など、しっかり活かせるようにしていきたい。
- ◆ 大変勉強になりました。言語活動量が多くなるよう、がんばろうと思いました。
- ◆ デジタル教科書をうまく活用されていてよかったです。発音の難しさを感じた。
- ◆ 1時間の中で、いろいろな形で繰り返し、今日のポイントをおさえていた。子どもたちの集中も興味も、その流れで保たれているんだなということが見ていて勉強になった。青堀の子どもたちも普段の英語の授業をきちんと積み重ねているなと感じた。とてもわかりやすい内容だった。実践に生かせることが盛りだくさんだった。
- ◆ 児童の興味をひき、工夫されていたところがよかったです。評価の仕方や音の文字のつながりをとても分かりやすく教えていただき勉強になった。絵～音～文字のつながりを大切にして指導にあたりたいと考えている。
- ◆ 6年生が英語での指示でもよく理解し、英単語を読んだり、英文や見本を参考にしながら、すらすら書けたりしていたので、今までの積み重ねがあってのことだと感じた。1時間の授業の中でテンポよく各活動が進んでいき、導入・読み・書きなどのいろいろな内容が入っていたので、子どもたちもとても楽しそうにしていたと思う。定着をどこまで求めるかが難しい。読みと書きの研修がとても勉強になった。
- ◆ 低学年は動きを多く取り入れて、「こうしたら楽しく授業を進められるのか」と学ぶ場面が多くあった。読むこと、書くことの指導法について学ぶこともできた。
- ◆ 授業は楽しくわかりやすかった。デジタル黒板を効果的に使っているのもよいと思った。是非、今後の授業に役立てたいと思う。
- ◆ ○ほぼ英語の授業だったが、わかる言葉をひろいながら考えている子どもたちがすごいなあと思った。 ○先生も学習の雰囲気を大切にしながら表情豊かに、はつらつとしてすごいです。  
○自分はアルファベットの発音ができないので、正しい発音を教えることを求められると難しいです。もちつき=mochi making Fes を覚えました！ 12月にあるので使います。

### 木更津市立南清小学校（10月30日）

- ◆ 「聞くから話す」へのステップがしっかりあって、子どもたちが無理なく英語になれ親しんでいるように感じた。
- ◆ 自分も積極的にクラスルームイングリッシュを使っていこうと思う。また、掲示物等のも使えそうな単語を使ってみようと思う。

- ◆ 明日の実践につながる内容が多く、活用していきたいと強く思った。
- ◆ 導入の small talk や activity の方法がよくわかった。全体での活動が多い分、本時の目標に対する振り返りや評価はどのようにすればよいかと疑問に思った。
- ◆ 1 時間の中に指導する内容がたくさんあり、実際に自分が学校でできるかを考えると不安になった。しかし、デジタル教材があることで、うまく活用すれば私達でもできることがわかり、少し不安が軽減された。
- ◆ めあての持たせ方、導入から「Today's Goal」へのつながりが大変勉強になった。
- ◆ ○デジタル教材の黄色（アルファベット）が見えにくく感じた。（授業の内容には関係ないが） ○外国語も学習問題を示していて良いと思った。 ○指導に生かしていきたいと思った。
- ◆ 質問に対して丁寧に対応して頂きありがとうございました。授業に活かせる内容でとても勉強になった。
- ◆ 今後の授業に活かしたいと思う。
- ◆ アルファベット・ジングルの大切さがよくわかった。児童を英語嫌いにさせないように、かつ毎日毎日繰り返して、体にしみこませていきたいと思う。しりとりのゲームもおもしろかったので、子どもたちとやってみたいと思った。
- ◆ 講話がとてもわかりやすかったです。
- ◆ とてもわかりやすく素敵なお学びとなりました。苦手意識が大きい私自身ですが、英語が楽しい、おもしろいと思えた。

#### 鴨川市立鴨川小学校（10月30日）

- ◆ ていねいな指導の仕方を提示頂き、ありがとうございます。5・6年生の文字指導の方法も提示してもらえるとうれしいです。
- ◆ 初めての子どもたちであれだけ落ち着いて授業されていて、さすがだなと思った。是非参考にしたい。
- ◆ Let's Try! も We Can! もむずかしくなって、教える方も大変だ。デジタル教材のスピードについていけず、ゆっくり担任が言い直してチャンツをすることもしばしばある。試行錯誤しながらやるしかないなと思っている。
- ◆ 英語の習得は「聞く」「話す」が大前提だということを改めて感じた。色々と工夫された指導法を教えていただき、ありがとうございました。
- ◆ アルファベットの指導方法、大変参考になった。早速、明日からやってみようと思う。

#### 君津市立外箕輪小学校（11月9日）

- ◆ ○スクリーンの映像が遠い児童には見えづらく、ホールも暗い感じがした。 ○5年生の児童の姿勢が最後までよかったです。 ○授業の号令を簡単な英語でもやれる力がある様な子なので、やってみてはどうか。 ○ほぼオールイングリッシュで授業を行い、全体が先生の指示をつかんでいこうとしていた。 ○先生対児童の1対1の学習活動が主であった。児童対児童の活動場面があればと思った。  
(プラン通りにやるよう言われていたのをしりませんでした。すみません。)

- ◆ デジタル教材を使った授業を初めて見た。全体で1つの画像を見て勉強ができ、どの児童がページを開けているか開けていないかを一人ひとり確認しなくとも、一斉に確認できるのがとても良かった。パソコンを使うのはあまり得意ではないが、是非デジタル教材を使ってみたい。
- ◆ 使っているのは簡単な英語なのに、とても多くの英語に子どもたちが触れている感覚があった。日本語に甘えず、挑戦していきたい。
- ◆ 外国語が教科化されるため、私たち小学校教員は、外国語の指導方法を学ばなければならない。今回のように、模擬授業を見せていただく機会は、大変ありがとうございます。
- ◆ 授業を見させていただき、本当にありがとうございました。外国語の授業は本当に難しいものだと感じた。教科書の使われている絵本はかなりレベルが低いものだと思う。それを高学年にやる。ということに凄い抵抗を感じる。どうやって絵本指導していけばいいのでしょうか？
- ◆ やはりデジタル教材の力って大きいなと感じた。映像と発音が子どもたちの中でつながることで、子どもの理解につながることがわかった。勉強になりました。
- ◆ 授業の中でたくさんの英語が使われていて、素晴らしいかったです。
- ◆ 非常に勉強になった。特に、研修の内容はすぐ実践にうつせると思った。
- ◆ わかりやすいご指導で、明日からやってみようと思う気持ちになりました。

### 袖ヶ浦市立蔵波小学校（11月29日）

- ◆ 子どもたちが楽しかった！！と言っていました。研修でもたくさんのゲームを教えて頂き、やってみたいと思った。
- ◆ 研修はわかりやすい内容のものが多く、学校でも取り組んでみたいと思った。
- ◆ 文科省のプランで4技能を無理、無駄なく英語を（難しすぎない）使って教える方法がよくわかった。明日からやってみたい。
- ◆ 授業準備等、お疲れ様でした。今後自分の授業に活かせるように、考えます。
- ◆ 「読むこと」「書くこと」の指導法について、これから実践していきたいなと思える内容がたくさんあった。
- ◆ とても勉強になりました。私は英語が苦手ですが、英語を使って授業を進めていけるようにつしていきたいと思う。
- ◆ ○45分間で行うには、盛りだくさんの内容だと思った。苦手な子もいる中で、学級担任が行うと、テンポ的には早いと感じた。だが、英語で説明して、「Let's Try！」ととりあえずやってみよう！とうながすことで、説明の時間が短縮されていて、勉強になった。子どもたちが理解していなくても、ある程度わかって、何度もやっていくことで、できるようになることがわかった。○カードや掲示物等をもっと作って活用していきたいと思った。ただ、買うには予算が・・・。作るには時間が・・・。
- ◆自分が授業を全て英語でできたらいいなあと思った。普段ALTが英語で説明したことを担任が日本語で説明するという繰り返しなので・・・。5×5 Bingoのアニマルのところは、子どもたちも一緒に英語を言いながらアルファベットを書いていけば、言語活動がさらに増えるのかな。と思った。私自身、もっとEnglishを勉強しなければ！と思った。今日はありがとうございました。ゲームがとても楽しかったです。クラスでやってみます！！